『α』専用サポートサイト

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。

https://www.sony.jp/support/ichigan/

ソフトウェアのサポート情報

Imaging Edgeシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

https://www.sony.jp/support/r/disoft/

アクセサリー対応情報

本機に対応したレンズやアクセサリーなどを掲載しています。

https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/

お問い合わせ窓口

●各種お問い合わせ(LINEやメールなど)

詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
https://www.sony.jp/support/inquiry.html

●電話でのお問い合わせ

【使い方相談窓口】
フリーダイヤル:0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9577

【修理相談窓口】
フリーダイヤル:0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9599

ガイダンスに沿って短縮番号「**402**」+「**#**」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

FAX:(共通)0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

https://www.sony.co.jp/

©2024 Sony Corporation

Printed in Thailand

5060467020

SONY

5-060-467-**02**(1)

レンズ交換式デジタルカメラ

α7SIII

Eマウント

取扱説明書

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」もご覧ください。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

https://rd1.sony.net/help/ilc/2410/ja/

ILCE-7SM3

⚠警告 安全のために

→ 134 ～ 141ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

**変な音・
においがしたら
煙が出たら**

➡ **❶ 電源を切る**
❷ 電池をはずす
❸ 相談窓口に連絡する

裏表紙に**相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

本書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

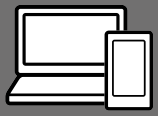
プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)を活用しましょう!



ヘルプガイド(Web取扱説明書)は、パソコンやスマートフォンでご覧いただける、Web上のマニュアルです。メニューの詳細や応用的な使いかた、最新情報などを説明しています。

ここからアクセス

https://rd1.sony.net/help/ilc/2410/ja/

ILCE-7SM3 ヘルプガイド

取扱説明書(本書)

基本的な操作を説明しています。

本機をすぐに使ってみたい方は、「スタートガイド」(9ページ)をご覧ください。初めてのシャッターを切るまでに必要な準備を説明しています。

カメラ内ガイド

MENU(メニュー)の説明をカメラの画面に表示する機能です。

撮影中でもサッと調べられて便利です。

メニュー画面で説明を見たい項目を選択し、🗑(削除)ボタンを押してください。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全のために 2
ヘルプガイド(Web取扱説明書)を活用しましょう！ 3

スタートガイド

1: 本体と付属品を確認する 9
2: バッテリーを準備する 10
3: メモリーカードをカメラに入れる 11
4: レンズを取り付ける 11
5: カメラの初期設定を行う 12
6: 静止画を撮影する 13

本機の基本操作

タッチパネル 14
タッチ機能アイコン 16
コントロールホイール 18
マルチセレクター 19
モードダイヤル 20
　撮影モードの詳細 20
MENUボタン 23
メインメニュー（撮影設定一覧） 26
Fn（ファンクション）ボタン 29
C（カスタム）ボタン 32
DISP（画面表示切換）ボタン 33

撮影機能を活用する

撮影モードを選ぶ.....36
AUTO (i おまかせオート).....36
P プログラムオート.....37
A 絞り優先.....38
S シャッタースピード優先.....38
M マニュアル露出.....39
M バルブ撮影 40
動画：露出モード 42
S&Q スロー &クイックモーション：S&Q 露出モード 43
フォーカス(ピント)を合わせる 44
ピント合わせの方法を選ぶ(フォーカスモード) 44
ピントを合わせるエリアを選ぶ
(フォーカスエリア) 46
人の瞳にピントを合わせる 49
ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー).....52
連続撮影 53
セルフタイマー (1枚) 54
画質や記録形式を設定する.....55
JPEG/HEIF切換.....55
ファイル形式 56
RAW記録方式 57
JPEG画質/HEIF画質.....58
JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ 58
記録方式.....59
動画設定..... 61
S&Q スロー &クイック設定 64
Px プロキシー設定.....66
APS-C S35 撮影.....67
撮影時のタッチ機能.....68
撮影中の画面表示を設定する 69
オートレビュー 69
撮影結果プレビュー.....70
マーカー表示(動画) 71

動画の音声を記録する 72
音声記録 72
録音レベル 72

カメラをカスタマイズする

よく使う機能をボタンやダイヤルに割り当てる
（カスタムキー /ダイヤル設定） 74
一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定） 76
撮影設定の登録と呼び出し 78
MR 撮影設定登録 78
MR 撮影設定呼び出し 79
カスタム撮影設定登録 80
よく使う機能をファンクションメニューに登録する 82
よく使う機能をマイメニュータブに登録する 83
ファインダー /モニターの表示を設定する 84
ファインダー /モニター選択 84
DISP（画面表示）設定（背面モニター /ファインダー） 85

カメラの設定を変更する

メモリーカードの設定 87
フォーマット 87
記録メディア設定 88
ファイルの設定 90
ファイル/フォルダー設定 90
ファイル設定 91
本体の設定 93
パワーセーブ開始時間 93
USB給電 94
設定の保存/読込 95
設定リセット 96

スマートフォン・パソコンでできること

スマートフォンでできること(Creators' App) 97
パソコンで写真を管理・編集する 98

クラウドサービスを利用する

Creators' Cloudについて 99

MENUから機能を探す

MENU一覧 100
(メイン)タブ 100
(撮影)タブ 100
(露出/色)タブ 105
(フォーカス)タブ 108
(再生)タブ 111
(ネットワーク)タブ 113
(セットアップ)タブ 116
(マイメニュー)タブ 120

各部の名称

各部の名称 122
本体前面 122
本体背面 123
本体上面 125
本体側面 127
本体底面 130
基本的なアイコン 131
静止画撮影時 131
動画撮影時 133

本機について／使用上のご注意

安全のために 134
使用上のご注意 137
困ったときにすること 142
保証書とアフターサービス 143
使用できるメモリーカード 144
主な仕様 146

索引 150

1: 本体と付属品を確認する

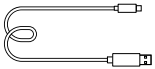
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内の数字は個数です。

- カメラ(1)
- バッテリーチャージャー（1)

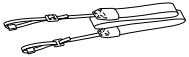
- 電源コード(1)

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FZ100（1)

- USB Type-C® ケーブル(1)



- ショルダーストラップ(1)



- ボディキャップ(1)
（本機に装着）

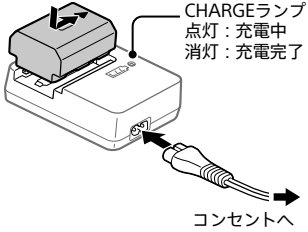
- ケーブルプロテクター（1)

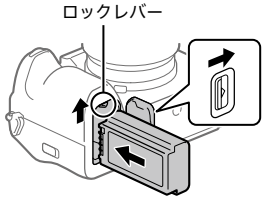
- シューキャップ(1)
（本機に装着）

- アイピースカップ(1)
（本機に装着）

- 取扱説明書(1)（本書）
- 保証書(1)

2: バッテリーを準備する





1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れ、電源コード（付属）を使ってコンセントにつなぐ。

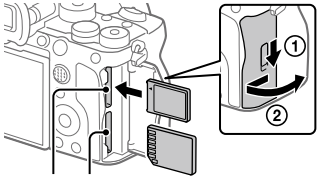
- ▲の方向を合わせて、バッテリーをバッテリーチャージャーの上に置き、奥までスライドさせます。

2 バッテリーをカメラに入れる。

- バッテリーカバーを開け、ロックレバーを押しながら入れます。

このカメラはUSB PD（USB Power Delivery）に対応しています。USB PD対応機器を接続すると、急速充電が可能になります。USB PD機器は、出力が9V/3Aまたは9V/2Aに対応したものをお使いになることをおすすめします。

3: メモリーカードをカメラに入れる



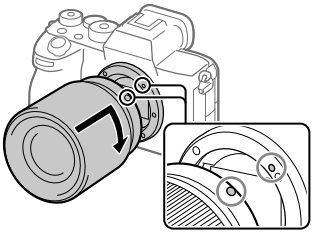
スロット1　スロット2

メモリーカードカバーを開き、メモリーカードの向きに注意してスロット1にメモリーカードを入れ、カバーを閉じる。

- このカメラは、スロット1/スロット2ともにCFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカードの両方に対応しています。お買い上げ時はスロット1を使う設定になっています。詳しい設定方法は、ヘルプガイドをご覧ください。
- メモリーカードの動作を安定させるために、このカメラではじめてお使いになるメモリーカードは、カメラでフォーマット（初期化）してください。

4: レンズを取り付ける

1 レンズとカメラの2つの白色の点（マウント標点）を合わせてはめ込む。



2 レンズを軽くカメラに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

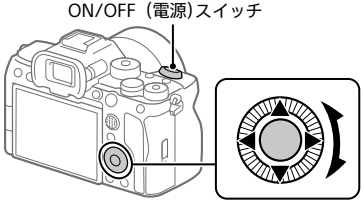
5: カメラの初期設定を行う

カメラとスマートフォンをBluetooth接続(ペアリング)することで、日時設定などカメラの初期設定をスマートフォンから行うことができます。あらかじめ、専用アプリをお使いのスマートフォンにインストールし、「初期設定の手順」の1 ～ 2に従って設定してください。

専用アプリのインストール

以下のウェブサイトからインストールしてください。
また、専用アプリは最新版にアップデートしてお使いください。なお、専用アプリの仕様は予告なく変更されることがあります。
https://www.sony.net/ca/

初期設定の手順



1 ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にして、カメラの電源を入れる。

2 カメラの画面の指示に従って、カメラとスマートフォンの接続、およびカメラの初期設定を行う。

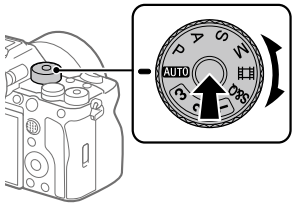
- 初期設定時の設定は、あとでカメラのメニューから設定/変更することもできます。

あとからカメラとスマートフォンをペアリングするには（スマートフォン接続）

詳しい接続方法は、下記からヘルプガイドをご確認ください。
https://rd1.sony.net/help/ilc/2410_pairing/h_zz/

6: 静止画を撮影する

1 モードダイヤル中央のロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回してAUTO（オートモード）にする。
撮影モードがi（おまかせオート）になる。



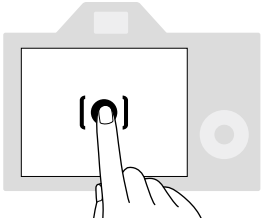
2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

3 シャッターボタンを深く押し込む。

タッチパネル

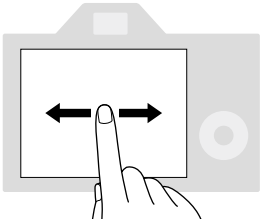
モニターはタッチパネルになっています。指でモニターに触れるタッチ操作で、撮影時のピント合わせや再生画面の操作などを直感的に行うことができます。

撮影画面でのタッチ操作

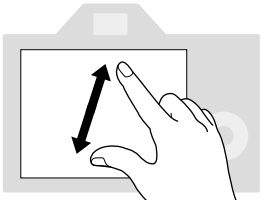


ピントを合わせる位置を画面でタッチして指定します(タッチフォーカス)。
被写体を追尾するトラッキング機能を使うときは、追尾する被写体をタッチします(タッチトラッキング)。
画面をタッチするだけで、被写体にピントを合わせて撮影まで行うこともできます(タッチシャッター)。撮影画面でのタッチ操作については、68ページもご覧ください。

再生画面でのタッチ操作



画像の1枚再生中に画面を左右にスワイプして、前後の画像に移動します。



画面上で2本の指を開いたり閉じたりする操作(ピンチアウト/ピンチイン)で、1枚再生中の画像を拡大/縮小できます。

- 再生画像の拡大表示および解除はダブルタップでも行えます。
- 動画の再生時は、再生開始/一時停止などをタッチ操作で行うことができます。

ヒント

- 画面下部に表示されるガイド表示もタッチで操作することができます([おまかせオート]モード時はのぞく)。
- 撮影画面や再生画面で上方向にすばやくスワイプすると、Fnメニューを開くことができます。また、撮影画面で左右にすばやくスワイプすると、画面左右に表示される各機能アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。
- [タッチパネル設定]で、タッチ操作を有効にするかどうかやタッチ操作の詳細を設定できます。

タッチ機能アイコン

一部の機能にはタッチ操作用のアイコンが用意されています(タッチ機能アイコン)。これらのアイコンをタッチすることでも機能の実行や設定が可能です。

タッチ機能アイコンを使うための設定

- [タッチ操作]:[入]
- [タッチパネル設定]の[撮影画面]:
  - [撮影画面]を[入]
  - [右方向にスワイプ]/[左方向にスワイプ]をお好みの設定にする。

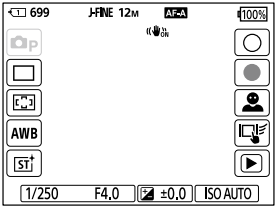
タッチ機能アイコンの表示/非表示を切り替えるには

撮影待機画面で右方向または左方向にスワイプすると、[撮影画面]の[右方向にスワイプ]や[左方向にスワイプ]の設定内容にしたがって画面の左右にタッチ機能アイコンが表示されます。
タッチ機能アイコンを非表示にするには、表示させたときのスワイプ操作と逆方向に画面をスワイプします。

タッチ機能アイコンの表示例と各アイコンの機能

画面の左側・右側のアイコンがどちらも表示される設定のときの表示例です。

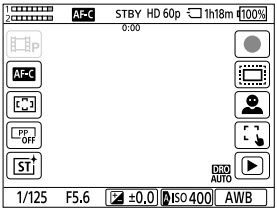
静止画撮影時



左側のアイコン：静止画撮影モード、[ドライブモード]、
[フォーカスエリア]、[ホワイトバランス]、
[クリエイティブルック]
右側のアイコン：静止画撮影、動画撮影スタート、[顔/瞳検出対象切換]、
[撮影時のタッチ機能]、再生画面に切り換え*

* 静止画モードの動画撮影中でもショットマークボタンが表示され、撮影中の動画にショットマークを設定可能です。

動画撮影時



左側のアイコン：動画撮影モード、[フォーカスモード]、
[フォーカスエリア]、[ピクチャープロファイル]、
[クリエイティブルック]
右側のアイコン：動画撮影スタート、[APS-C S35 撮影]、
[顔/瞳検出対象切換]、[撮影時のタッチ機能]、再生画面に切り換え*

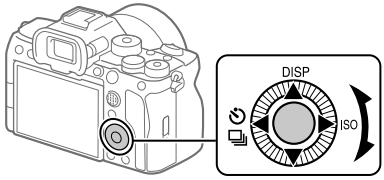
* 動画撮影中はショットマークボタンが表示され、撮影中の動画にショットマークを設定可能です。

ヒント

- 再生画面のタッチ機能アイコンはMENU → (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチパネル設定] → [再生画面]が[入]に設定されていれば常に表示されます。
- MENU → (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチパネル設定] → [撮影画面] → [モニター反転時のアイコン]で、モニターを反転したときに撮影画面の左右のアイコンを入れ替えるかどうかを設定できます。

コントロールホイール

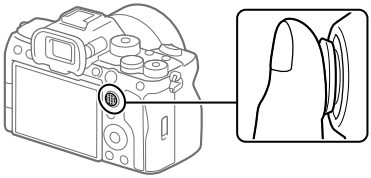
メニュー画面やFnボタンを押して表示される画面で、コントロールホイールを回したり上下左右を押したりして、選択枠を動かします。選んだ項目はコントロールホイールの中央を押して決定します。



- コントロールホイールの上/左/右ボタンにはDISP（画面表示切換）、/(ドライブモード)、ISO（ISO感度）が割り当てられています。また、コントロールホイールの左/右/下ボタン、中央、回転操作にはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時にコントロールホイールの左/右ボタンを押す、またはコントロールホイールを回すことで再生画面を送ることができます。

マルチセレクター

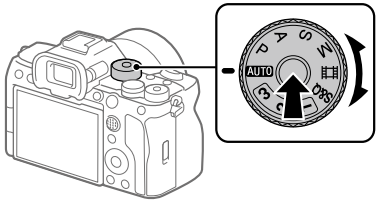
マルチセレクターを上下左右に押して、フォーカスエリアを移動します。また、マルチセレクターを押し込む操作に機能を割り当てることができます。



- マルチセレクターの上面に指を乗せて使用すると、より確実に操作できます。
- フォーカスエリアを移動できるのは、[フォーカスエリア]の設定が以下のときです。
  - [ゾーン]
  - [スポット: L] / [スポット: M] / [スポット : S]
  - [拡張スポット]
  - [トラッキング : ゾーン]
  - [トラッキング : スポットL] / [トラッキング : スポットM] / [トラッキング : スポットS]
  - [トラッキング : 拡張スポット]
- お買い上げ時の設定では、マルチセレクターの中央には[フォーカススタンダード]機能が割り当てられています。

モードダイヤル

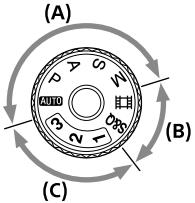
被写体や撮影の目的に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを選びます。



- モードダイヤル中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回してください。

撮影モードの詳細

モードダイヤル上の各モードは、静止画撮影モード、動画撮影モード、登録呼び出しモードに分けられます。



(A)静止画撮影モード
(B)動画撮影モード
(C)登録呼び出しモード

ヒント

- モードダイヤルの設定によって、表示されるメニュー項目が異なります(24ページ、100ページ)。

(A)静止画撮影モード

選んだ撮影モードによって、絞り(F値)とシャッタースピードをどのように調整するかが決まります。

モードダイヤル	撮影モード	説明
AUTO (オート)	おまかせオート	カメラまかせでシーンを認識して撮影する。
P	プログラムオート	露出(シャッタースピードと絞り)はカメラが自動設定する。 [ISO感度]などの撮影設定は自分で調整できる。
A	絞り優先	絞り値を優先して設定し、シャッタースピードは自動で調整される。 背景をぼかしたいときや画面全体にピントを合わせたいときに選ぶ。
S	シャッタースピード優先	シャッタースピードを優先して設定し、絞り値は自動で調整される。 動きの速い被写体をブレずに撮影したいときや、水や光の軌跡を撮影したいときに選ぶ。
M	マニュアル露出	絞り値とシャッタースピードの両方を手動で調節する。 自分の好みの露出で撮影できる。

(B)動画撮影モード

モードダイヤル	撮影モード	説明
(動画)	動画	動画撮影時の露出モードを設定できる。
S&Q	スロー&クイックモーション	スロー&クイックモーション撮影時の露出モードを設定できる。

動画撮影モードでの露出の設定方法は、MENU → 撮影 → ［撮影モード］ → ［露出制御方式］の設定により異なります。

［露出制御方式］が［P/A/S/Mモード］のとき：

MENU → 撮影 → ［撮影モード］ → ［露出モード］または ［S&Q 露出モード］ → P/A/S/M から希望の露出モードを選ぶ。

［露出制御方式］が［フレキシブル露出モード］のとき：

絞り値とシャッタースピード、ISO感度のそれぞれについて、以下の機能を割り当てたカスタムボタンを使って、自動設定/手動設定を切り換えることができる。

- 絞り値
  ［オート/マニュアル切換設定］ → ［Avオート/マニュアル切換］
- シャッタースピード
  ［オート/マニュアル切換設定］ → ［Tvオート/マニュアル切換］
- ISO感度
  ［オート/マニュアル切換設定］ → ［ISOオート/マニュアル切換］

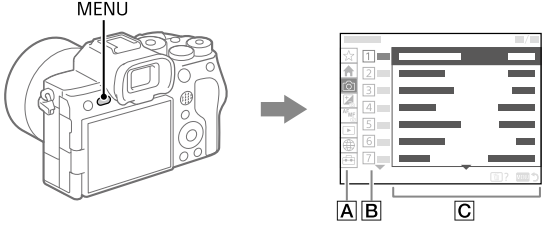
手動設定を選んだ場合は、前/後ダイヤルやコントロールホイールを回して、希望の値を設定する。

(C)登録呼び出しモード

モード ダイヤル	撮影モード	説明
1/2/3	MR 撮影設定呼び出し	あらかじめ登録*しておいた、よく使うモードや数値の設定を呼び出して撮影できる。 * ［MR 撮影設定登録］で、露出モード（P/A/S/M）や絞り（F 値）、シャッタースピードのほか、さまざまな撮影設定を登録することができます（78ページ）。

MENUボタン

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。撮影や再生をはじめ、カメラ全体に関する設定を変更したり、機能を実行したりすることができます。



A メニュータブ

撮影、再生、ネットワークなど、カメラの使用シーンで分類しています。

B メニューグループ

各タブの中で、メニュー項目を機能によりグループ分けしています。
グループに振られている番号はタブ内における通し番号です。使用中のグループの位置を把握するために参照してください。

C メニュー項目

設定したり実行したりする機能を選びます。

ヒント

- 選択中のタブ名やグループ名が、画面上部に表示されます。
- メニュー画面に表示される項目の一覧は「MENU一覧」をご覧ください(100ページ)。
- [タッチ操作]を[入]にして[タッチパネル設定]の[メニュー画面]を[入]に設定していると、メニュー画面でのタッチ操作が可能です。

メニュー画面の基本操作

① MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

② コントロールホイールの上/下/左/右を押してメニュー階層を移動しながら、希望のメニュー項目を探す。

- 静止画撮影時と動画撮影時で、表示されるメニューの内容が異なります(24ページ)。

メニュータブ　メニューグループ　メニュー項目

③ コントロールホイールの中央を押してメニュー項目を選ぶ。

選んだメニュー項目の設定画面または実行画面が開く。

④ 設定値を選択する、または機能を実行する。

- 設定を変更せずに前の画面に戻るには、MENUボタンを押してください。

⑤ MENUボタンを押してメニュー画面を閉じる。

撮影画面や再生画面に戻る。

ヒント

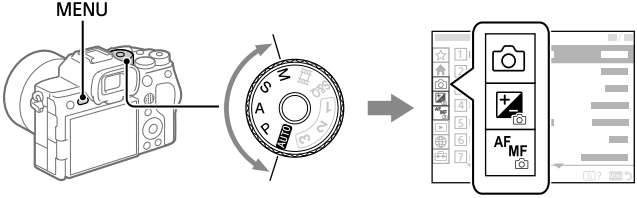
- (メイン)タブは現在の撮影設定を一覧で確認できます。各設定値を選ぶと、該当するメニュー項目に移動し、設定を変更することができます。
- [カスタムキー /ダイヤル設定]または[カスタムキー /ダイヤル設定]でお好みのキーに[MENU]機能を割り当てておくと、割り当てたキーを押すことでもメニュー画面を表示できます(74ページ)。

モードダイヤルとメニュー画面の関係

モードダイヤルの設定によって、[メイン][撮影][露出/色][フォーカス]タブは表示されるメニューグループ、メニュー項目が異なります。

静止画撮影モード(AUTO/P/A/S/M)

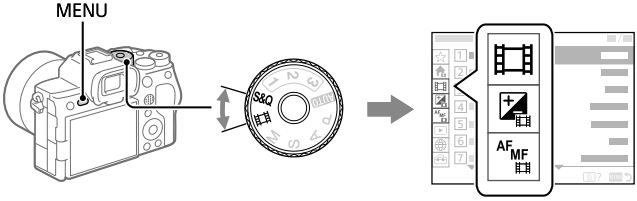
• 静止画撮影用のメニューが表示されます。*



* 静止画撮影モードでもMOVIE（動画）ボタンでの動画撮影が可能なため、一部の基本的な動画メニューも表示されます。

動画撮影モード(/S&Q)

• 動画撮影用のメニューが表示されます。



本書で使用するアイコンについて

/ : 静止画撮影モード(AUTO/P/A/S/M)のときに表示されるメニュー項目

/ : 動画撮影モード(動画/S&Q)のときに表示されるメニュー項目

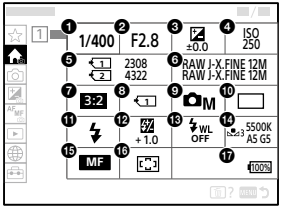
/ : 静止画撮影モード/動画撮影モードどちらでも表示されるメニュー項目

メインメニュー（撮影設定一覧）

メニュー画面の⌂（メイン）タブを選ぶと、撮影の設定内容を一覧表示します。撮影開始前やシーンごとにまとめて確認し、この画面から直接設定を変更することもできます。

静止画撮影時のメインメニュー

メイン1



❶ シャッタースピード*
❷ 絞り*
❸ 露出補正
❹ ISO感度
❺ フォーマット
❻ 画質/画像サイズ設定
❼ アスペクト比
❽ 記録メディア設定
❾ 撮影モード
❿ ドライブモード
⓫ フラッシュモード
⓬ 調光補正
⓭ ワイヤレスフラッシュ

⓮ ホワイトバランス

⓯ フォーカスモード

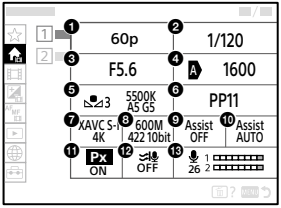
⓰ フォーカスエリア

⓱ バッテリー残量

* 撮影モードが[プログラムオート]のときはシャッタースピードと絞りの値がひとつのエリア内で表示され、そのエリアを選択するとプログラムシフトの操作を行うことができます。

動画撮影時のメインメニュー

メイン1



❶ 記録フレームレート／S&Q 記録フレームレート(スロー &クイックモーション撮影時)

❷ シャッタースピード

❸ 絞り

❹ ISO感度

❺ ホワイトバランス

❻ ピクチャープロファイル

❼ 記録方式

❽ 記録設定／S&Q スロー &クイック設定(スロー &クイックモーション撮影時)

❾ ガンマ表示アシスト

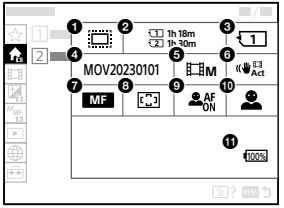
❿ ガンマ表示アシスト方式

⓫ Px プロキシー記録

⓬ 風音低減

⓭ 録音レベル

メイン2



❶ APS-C S35 撮影

❷ フォーマット

❸ 記録メディア

❹ ファイル設定

❺ 撮影モード

❻ 手ブレ補正

❼ フォーカスモード

❽ フォーカスエリア

❾ AF時の顔/瞳優先

❿ 顔/瞳検出対象

⓫ バッテリー残量

ヒント

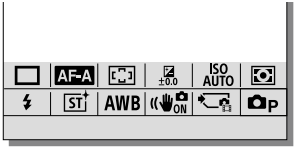
- カスタムキー設定でお好みのキーに[メインメニュー表示]機能を割り当てておくと、割り当てたキーを押すことでもメインメニュー画面を開くことができます。
- [タッチ操作]を[入]にして[タッチパネル設定]の[メニュー画面]を[入]に設定していると、メインメニュー内のアイコンをタッチすることで選択画面を開くことができます。

Fn（ファンクション）ボタン

撮影時や再生時にFn（ファンクション）ボタンを押すと、よく使う機能を集めたメニュー（ファンクションメニュー）が画面に表示され、すばやく機能を呼び出すことができます。

ファンクションメニューの例

カメラの状態により表示される内容は異なります。

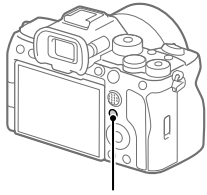


ヒント

- [Fnメニュー設定] / [Fnメニュー設定]で、静止画撮影時/動画撮影時/再生時それぞれのファンクションメニューにお好みの機能を登録できます。それぞれのファンクションメニューに12個ずつ機能を登録できます。
- [タッチ操作]を[入]にして[タッチパネル設定]の[撮影画面] / [再生画面]を[入]に設定していると、ファンクションメニュー画面でのタッチ操作が可能です。
- [タッチ操作]が[入]で[タッチパネル設定]の[撮影画面]/[再生画面]が[入]のときは、ファンクションメニュー中のアイコンを長押しすることでも[Fnメニュー設定] / [Fnメニュー設定]を開くことができます。
- [撮影画面]の[上方向にスワイプ]を[Fnメニューを開く]にしていると、撮影画面をタッチ操作で上方向にすばやくスワイプすることでもファンクションメニューを表示できます。また、[再生画面]を[入]にしていると、再生画面で上方向にすばやくスワイプすることでもファンクションメニューを表示できます。
- ファンクションメニューの外のエリアから下にスワイプしたり、ファンクションメニューの外でタッチしたりすると、ファンクションメニューを閉じることができます。

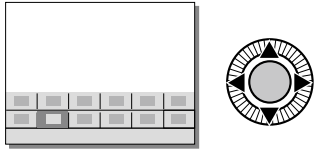
1 Fn（ファンクション）ボタンを押す。

- 撮影時は、コントロールホイールのDISPボタンを押して［ファインダー撮影用］画面以外にしてからFnボタンを押してください。



Fn（ファンクション）ボタン

2 コントロールホイールの上/下/左/右を押して、設定する機能を選ぶ。



3 撮影時は、前ダイヤルを回して希望の設定を選ぶ。

- 一部の機能は、後ダイヤルを回して微調整値の設定もできます。

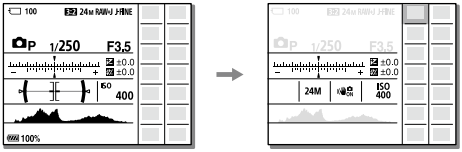
4 コントロールホイールの中央を押す。

［ファインダー撮影用］表示でFn ボタンを使う

モニター表示が［ファインダー撮影用］のときにFnボタンを押すと、変更したい項目をダイレクトに操作できるようになります。

オートモード時

P/A/S/M時



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

専用画面で設定するには

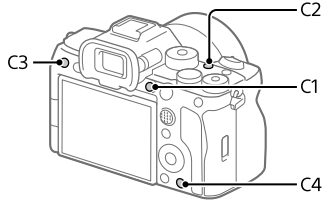
設定する機能のアイコンを選んでコントロールホイールの中央を押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイドに従って設定してください。

ご注意

- [ファインダー撮影用]の画面でグレーになっている項目は、Fnボタンを押しても変更できません。
- [ファインダー撮影用]の画面では、[クリエイティブルック]や[ピクチャープロファイル]など、専用画面に入らないと操作できない設定もあります。

C（カスタム）ボタン

あらかじめカスタムボタン（C1 ～ C4）によく使う機能を設定しておくと、撮影時や再生時にボタンを押すだけですばやくその機能を呼び出すことができます。
お買い上げ時の設定では、カスタムボタンにはおすすめの機能が割り当てられています。

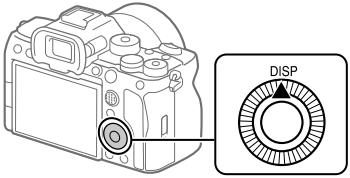


カスタムボタンの機能を確認/変更するには

MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定]、[カスタムキー /ダイヤル設定]または[カスタムキー設定]で現在割り当てられている機能名を確認できます。
カスタムボタンの機能を変更したい場合は、ボタンを選んだ状態でコントロールホイールの中央を押します。そのボタンに割り当て可能な機能が表示されるので、お好みの機能を選んでください。

DISP（画面表示切換）ボタン

DISP（画面表示切換）ボタンを押すと、撮影時や再生時の画面に表示される内容を切り換えることができます。DISPボタンを押すたびに、表示が切り替わります。撮影時のファインダー表示とモニター表示はそれぞれ独立して設定できます。



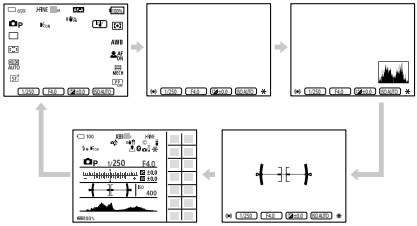
ヒント

- DISP ボタンでモニターを消灯することもできます。MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [DISP（画面表示）設定] → [背面モニター]で、[モニター消灯]にチェックを入れてください。

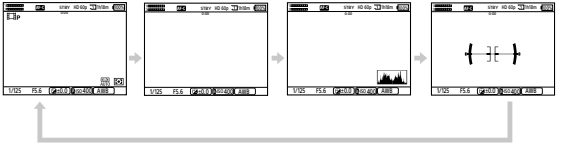
撮影時(モニター)

全情報表示 → 情報表示 なし → ヒストグラム → 水準器 → ファインダー撮影用 → 全情報表示

静止画撮影時：



動画撮影時：



撮影時(ファインダー)

水準器 → 情報表示 なし → ヒストグラム → 水準器

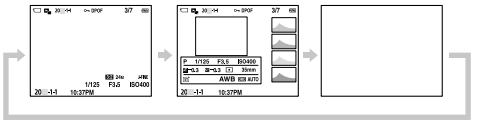
静止画撮影時：

動画撮影時：

- ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISPボタンを押してください。

再生時(モニター /ファインダー)

情報表示 あり → ヒストグラム → 情報表示 なし → 情報表示 あり



- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します(白とび黒つぶれ警告)。
- 再生時の設定は、[オートレビュー]でも反映されます。

ご注意

- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
- お買い上げ時の設定では、以下は表示されていません。
  - モニター消灯
  - 全情報表示（ファインダー使用時）
- 動画撮影時は、[ファインダー撮影用]が表示できません。モニターの表示が[ファインダー撮影用]の場合、動画撮影を開始すると全情報表示に切り替わります。

撮影モードを選ぶ

AUTO (iカメラ おまかせオート)

カメラまかせでシーン認識をして撮影します。

1 モードダイヤルをAUTO (オートモード)にする。
撮影モードがiカメラ (おまかせオート)になる。

2 被写体にカメラを向ける。
シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。

3 ピントを合わせて撮影する。

シーン認識について

シーン認識は、カメラが自動的に撮影状況を認識する機能です。
シーンを認識すると画面上部に下記のマークとガイドが表示されます。
(人物)、(赤ちゃん)、(夜景＆人物)、(夜景)、(逆光＆人物)、(逆光)、(風景)、(マクロ)、(スポットライト)、(低照度)、(三脚夜景)

ご注意

- 光学ズーム以外でのズームを使用中は、シーン認識は働きません。
- 状況により、シーンはうまく認識されない場合があります。

P プログラムオート

露出(シャッタースピードと絞り)はカメラが自動設定します。
[ISO感度]などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

1 モードダイヤルをP (プログラムオート)にする。

2 撮影機能を希望の設定にする。

3 ピントを合わせて撮影する。

プログラムシフト

フラッシュを使用していないときに、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞り(F値)の組み合わせを変更できます。
前/後ダイヤルを回し、絞り値とシャッタースピードの組み合せを選んでください。

- 前/後ダイヤルを回すと、モニターの表示が「P」から「P*」に変わります。
- 解除するには、撮影モードを[プログラムオート]以外にするか、カメラの電源を切ってください。
- [タッチパネル設定]→[撮影画面]→[フッターアイコンタッチ]を[有効]にしていると、画面下部のシャッタースピードと絞りの表示部分をタッチすることでもプログラムシフトを実行できます。

ご注意

- 撮影する環境の明るさによって、プログラムシフトができない場合があります。
- 撮影モードを「P」以外にするか、電源を切ると設定は解除されます。
- 明るさが変わるとシャッタースピードと絞り(F値)はプログラムシフトの組み合わせを保持したまま変化します。

A 絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA（絞り優先）にする。

2 前/後ダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 絞り値を小さくする：被写体の前後がぼける。
  絞り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。
- 設定した絞り値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、シャッタースピードが点滅します。この場合は、絞り値を変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードが自動的に設定される。

ご注意

- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

S シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整して、動くものの表現を変えた静止画を撮影したり、自然な動きの動画を撮影することができます。

1 モードダイヤルをS（シャッタースピード優先）にする。

2 前/後ダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 設定したシャッタースピードで適正露出にならないとカメラが判断した場合は、絞り値が点滅します。この場合は、シャッタースピードを変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

ヒント

- シャッタースピードを遅くするときは手ブレを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くしてください。

ご注意

- シャッタースピード優先モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- [長秒時ノイズ低減]を[入]にしているときは、シャッタースピードを1秒または1秒より遅くして撮影(長時間露光)すると、露光していた時間と同時間のノイズ軽減処理をします。処理中は撮影できません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

M マニュアル露出

絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮影できます。

1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。

2 前ダイヤルを回して、絞り値を選ぶ。
後ダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ。

- 絞り値とシャッタースピードを変更するダイヤルは、
  [カスタムキー /ダイヤル設定]または
  [カスタムキー /ダイヤル設定]で変更できます。
- マニュアル露出モードでも[ISO感度]を[ISO AUTO]に設定できます。調整した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度が変化します。
- [ISO感度]を[ISO AUTO]に設定したとき、設定した値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは絞り値を変更してください。

- [ISO感度]が[ISO AUTO]以外の場合、「M.M.」(メータードマニュアル) * で露出値を確認できます。
  +側 : 明るく写る。
  −側 : 暗めに写る。
  0 : カメラが判断した適正露出。
  * 適正露出に対するアンダー /オーバーを示します。モニターでは数値で、ファインダーでは測光インジケーターで表示されます。

3 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- AELボタンを押しながら前/後ダイヤルを回すと、設定した露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。(マニュアルシフト)

ご注意

- [ISO感度]を[ISO AUTO]にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- マニュアル露出モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

M バルブ撮影

長時間露光で、動きの軌跡を撮影できます。
星の軌跡や、花火の光が尾を引くような写真を撮る場合に適しています。

1 モードダイヤルをM (マニュアル露出)にする。

2 [BULB]が出るまで後ダイヤルを左に回す。

3 前ダイヤルで絞り値(F値)を選ぶ。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

5 必要な時間、シャッターボタンを押し続けて撮影する。

シャッターボタンを押し続けている間、露光される。

ヒント

- 打ち上げ花火などのときは、マニュアルフォーカスにしてピントを無限遠にしてください。無限遠の位置がわからないレンズの場合は、同じような場所に上がる花火であらかじめピントを決めて撮影します。
- 画質を低下させずにバルブ撮影を行うためには、本機の温度が下がった状態で撮影を開始することをおすすめします。
- 画像がブレやすくなるため、三脚やBluetoothリモコン(別売)またはロック機能を持つリモートコマンダー（別売)のご使用をおすすめします。Bluetoothリモコンを使用する場合は、リモコンのシャッターボタンを押すとバルブ撮影が開始され、もう一度押すとバルブ撮影が終了します。その他のリモートコマンダーを使用する場合は、マルチ/マイクロUSB端子での接続に対応したものをお使いください。

ご注意

- 露光時間が長いほど、画面内のノイズは目立ちやすくなります。
- [長秒時ノイズ低減]を[入]にしているときは、撮影後はシャッターが開いていた時間分だけ、ノイズ軽減処理が行われます。処理中は撮影できません。
- 以下の場合はシャッタースピードを[BULB]に設定できません。
  - ドライブモードが以下のとき
    - [連続撮影]
    - [セルフタイマー（連続)]
    - [連続ブラケット]
  - [シャッター方式]が[電子シャッター]
  - [サイレントモード設定]の[サイレントモード]が[入]

  シャッタースピードを[BULB]に設定しているときに上記機能を使用すると、シャッタースピードは一時的に30秒になります。

動画：露出モード

動画撮影時の露出モードを設定できます。[露出制御方式]が[P/A/S/Mモード]のときに適用されます。

1 モードダイヤルを (動画)にする。

2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [露出モード] → 希望の設定を選ぶ。

P プログラムオート：露出(シャッタースピードと絞り)はカメラが自動設定する。

A 絞り優先：絞りを手動設定する。

S シャッタースピード優先：シャッタースピードを手動設定する。

M マニュアル露出：露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

3 MOVIE（動画)ボタンを押して撮影を開始する。

- 撮影を終了するには、もう一度MOVIEボタンを押します。

S&Q スロー &クイックモーション：S&Q 露出モード

スロー&クイックモーション撮影時の露出モードを設定できます。[露出制御方式]が[P/A/S/Mモード]のときに適用されます。撮影時の設定や再生速度は[S&Q スロー &クイック設定]で変更できます(64ページ)。

1 モードダイヤルをS&Q (スロー &クイックモーション)にする。

2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [S&Q 露出モード] → 希望の設定を選ぶ。

- **S&Q P プログラムオート:** 露出(シャッタースピードと絞り)はカメラが自動設定する。
- **S&Q A 絞り優先:** 絞りを手動設定する。
- **S&Q S シャッタースピード優先:** シャッタースピードを手動設定する。
- **S&Q M マニュアル露出:** 露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

3 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を開始する。

- 撮影を終了するには、もう一度MOVIEボタンを押します。

フォーカス(ピント)を合わせる

ピント合わせの方法を選ぶ(フォーカスモード)

静止画/動画

被写体の動きに応じてピント合わせの方法を選べます。

MENU → AF/MF(フォーカス) → [AF/MF] → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

AF-S (シングルAF): ピントが合った時点でピントを固定する。動きのない被写体で使う。

AF-A (AF制御自動切換): 被写体の動きに応じて、[シングルAF]と[コンティニュアスAF]が切り替わる。シャッターボタンを半押しすると、被写体が静止していると判断したときはピント位置を固定し、被写体が動いているときはピントを合わせ続ける。連続撮影時は、2枚目以降自動的に[コンティニュアスAF]に切り替わります。

AF-C (コンティニュアスAF): シャッターボタンを半押ししている間中、ピントを合わせ続ける。動いている被写体にピントを合わせるときに使う。[コンティニュアスAF]では、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

DMF (ダイレクトマニュアルフォーカス): オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できる。最初から[マニュアルフォーカス]でピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。

MF (マニュアルフォーカス): ピント合わせを手動で行う。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、[マニュアルフォーカス]で操作してください。

フォーカス表示

●**点灯：**ピントが合って固定されている。

●**点滅：**ピントが合っていない。

(◉)点灯：ピントが合っている。被写体の動きに合わせてピント位置が変わる。

(( ))点灯：ピント合わせの途中。

ピントが合いにくい被写体

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

ヒント

- [コンティニュアスAF]に設定しているとき、[フォーカスホールド]機能を割り当てたキーを押すと、押している間ピントを固定することができます(74ページ)。
- [マニュアルフォーカス]や[DMF]で無限遠にピントを合わせるときは、充分遠くにある被写体にピントが合っていることをモニターやファインダー上で確認してください。

ご注意

- 位相差AFに対応しているレンズを装着しているときのみ、[AF制御自動切換]が使えます(49ページ)。
- [コンティニュアスAF]または[AF制御自動切換]に設定しているときは、画角が小刻みに変化することがありますが、撮影画像に影響ありません。
- 動画撮影時またはモードダイヤルがS&Q (スロー &クイックモーション)のときは、フォーカスモードは[コンティニュアスAF]または[マニュアルフォーカス]になります。

ピントを合わせるエリアを選ぶ(フォーカスエリア)

オートフォーカスで撮影するときのフォーカス枠の種類を設定します。
被写体に合わせて設定してください。

MENU → AF$_{MF}$ (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

ワイド : モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影でシャッターボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。

ゾーン : モニター上でピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

中央固定 : モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。

スポット: L/スポット: M/スポット : S : モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

拡張スポット : [スポット]の周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周辺のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。

トラッキング : [フォーカスモード]が[コンティニュアスAF]のときのみ選択可能。シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。[フォーカスエリア]設定画面で[トラッキング]にカーソルを合わせて、コントロールホイールの左/右でトラッキングの開始エリアを変更できる。追尾開始エリアを[トラッキング : ゾーン]、[トラッキング : スポットL]、[トラッキング : スポットM]、[トラッキング : スポットS]または[トラッキング : 拡張スポット]にすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

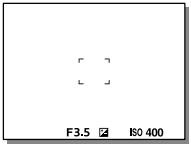
ご注意

- 以下の場合、[フォーカスエリア]は[ワイド]に固定されます。
  –[おまかせオート]
- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。
- モードダイヤルが(動画)またはS&Q(スロー &クイックモーション)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[トラッキング]は選択できません。

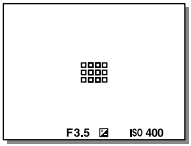
フォーカス枠表示例

フォーカス枠表示には下記の種類があります。

広いエリアでピントが合ったとき

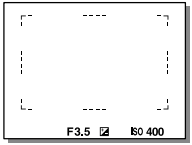


狭いエリアでピントが合ったとき



- [フォーカスエリア]が[ワイド]または[ゾーン]のときは、被写体やシーンによって「広いエリアでピントが合ったとき」または「狭いエリアでピントが合ったとき」の表示になります。
- Aマウント用のレンズとマウントアダプター (LA-EA3またはLA-EA5) (別売)を装着したときは、「狭いエリアでピントが合ったとき」の表示になります。

モニター全体を基準に自動でピントが合ったとき



- 静止画撮影モードで光学ズーム以外のズーム使用時は、[フォーカスエリア]の設定は無効になり、フォーカス枠は点線で表示されます。中央付近を優先したAF動作になります。

フォーカスエリアの移動方法

[フォーカスエリア]の設定が以下のときは、マルチセレクターでフォーカスエリアを移動できます。

– [ゾーン]
– [スポット: L] / [スポット: M] / [スポット : S]
– [拡張スポット]
– [トラッキング : ゾーン]
– [トラッキング : スポットL] / [トラッキング : スポットM] / [トラッキング : スポットS]
– [トラッキング : 拡張スポット]

マルチセレクターの中央にあらかじめ[フォーカススタンダード]を割り当てておくと、中央を押してフォーカス枠を画面の中央に戻すことができます。

ヒント

- [フォーカスエリア]が[スポット]または[拡張スポット]のときは、[AF枠の移動量]を[大]に設定すると、フォーカス枠を動かすときの移動量をより大きくすることができます。
- タッチ操作で、モニターのフォーカス枠をドラッグしすばやく移動させることができます。あらかじめ、[タッチ操作]を[入]に、[タッチパネル設定]の[撮影画面]で[撮影時のタッチ機能]を[タッチフォーカス]に設定してください。

静止画撮影時に一時的に被写体を追尾する（押す間トラッキング）

あらかじめ、カスタムキーに［押す間トラッキング］を割り当てておくと、カスタムキーを押している間、一時的に［フォーカスエリア］の設定が［トラッキング］に切り替わります。このときの［トラッキング］の種類は、［押す間トラッキング］を実行する前に設定していた［フォーカスエリア］の設定がそのまま引き継がれます。

例：

［押す間トラッキング］実行前に設定していた［フォーカスエリア］	［押す間トラッキング］実行中の［フォーカスエリア］
［ワイド］	［トラッキング：ワイド］
［スポット：S］	［トラッキング：スポットS］
［拡張スポット］	［トラッキング：拡張スポット］

位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

ご注意

- 位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。位相差AFに対応していないレンズを使用すると［AF制御自動切換］、［AF被写体追従感度］、［AF乗り移り感度］、［AFトランジション速度］が使用できません。また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。
  https://www.sony.jp/support/ichigan/

人の瞳にピントを合わせる

カメラが自動で顔や瞳を検出し、瞳にピントを合わせることができます（瞳AF）。ここでは、検出対象を人物にした場合を説明します。最大8人の顔を検出できます。

[瞳AF]には、2種類の実行方法があります。仕様が一部異なるため、用途に合わせて使い分けることをおすすめします。

項目	[AF時の顔/瞳優先]機能	カスタムキーの[瞳AF]
特徴	顔や瞳を最優先して検出する	顔や瞳のみ検出する
事前準備	• [AF時の顔/瞳優先]を[入]にする(110ページ) • [顔/瞳検出対象]を[人物]にする。	[カスタムキー/ダイヤル設定]または[カスタムキー/ダイヤル設定]で[瞳AF]をお好みのボタンに割り当てる
[瞳AF]の実行方法	シャッターボタンを半押しする	[瞳AF]を割り当てたボタンを押す*
機能の詳細	• 設定した[フォーカスエリア]やその周辺に顔や瞳があるときは、顔や瞳に優先的にピントを合わせる。 • 設定した[フォーカスエリア]やその周辺で顔や瞳が検出されないときは、検出可能な他の被写体にピントを合わせる。	• [フォーカスエリア]の設定によらず、画面全域を使って、顔や瞳にのみピントを合わせる。 • 画面全域で顔や瞳が検出されないときは、ピント合わせを行わない。
フォーカスモード	[フォーカスモード]の設定に従う	[フォーカスモード]の設定に従う
フォーカスエリア	[フォーカスエリア]の設定に従う	設定によらず、一時的に画面全域となる

* [AF時の顔/瞳優先]が[入] / [切]どちらに設定されていても、[瞳AF]を割り当てたボタンを押している間は、カスタムキーの[瞳AF]を使用できます。

カスタムキーの[瞳AF]を使うには

カスタムキーに[瞳AF]を割り当てると、キーを押している間だけ瞳にピントを合わせることができます。[フォーカスエリア]の設定にかかわらず、一時的に画面全体で瞳AFを使用したいときに便利です。
顔や瞳が検出できない場合は、AF動作は行いません。

① MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定]または [カスタムキー /ダイヤル設定] → 希望のキーに[瞳AF]の機能を設定する。

② MENU → AF/MF (フォーカス) → [顔/瞳AF] → [顔/瞳検出対象] → [人物]を選ぶ。

③ 人の顔にカメラを向け、[瞳AF]の機能を割り当てたキーを押す。

静止画を撮影する場合は、キーを押したままシャッターボタンを押してください。

動物の瞳にピントを合わせるには

[顔/瞳検出対象]を[動物]に設定して撮影します。

検出対象が動物の場合は、静止画撮影時のみ瞳を検出することができます。また、動物の顔は検出されません。

ご注意

- 以下のときは、[瞳AF]がうまく働かないことがあります。
  - メガネ(サングラス)をかけた状態
  - 前髪がかかった状態
  - 低照度、逆光時
  - 目を閉じた状態
  - 影がかかった状態
  - ピントが大きくずれた状態
  - 被写体の動きが大きいとき

  ほかにも、状況によって瞳にピントを合わせられない場合があります。
- 人の瞳にピントを合わせられないときは、顔を検出して顔にピントを合わせます。人の顔を検出できない場合、瞳AFは使用できません。
- 状況によっては、顔が検出できなかったり、顔以外を誤検出することがあります。

ドライブ機能を使う(連写/セルフタイマー)

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 コントロールホイールの⏲/🖳(ドライブモード) → 希望の設定を選ぶ。

- MENU → 📷 (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード]でも設定できます。
- [連続撮影]、[セルフタイマー (1枚)]以外の設定項目について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

1枚撮影：シャッターボタンを押すと、1枚だけ撮影する。

連続撮影：シャッターボタンを押している間、連続撮影する(53ページ)。

セルフタイマー (1枚)：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後に撮影する(54ページ)。

セルフタイマー (連続)：シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後に指定枚数を連続撮影する。

BRK C 連続ブラケット：シャッターボタンを押し続けることで、露出を段階的にずらして画像を撮影する。

BRK S 1枚ブラケット：露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB ホワイトバランスブラケット：選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

BRK DRO DROブラケット：Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

連続撮影

静止

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 コントロールホイールの/(ドライブモード) → [連続撮影]を選ぶ。

- MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード]でも設定できます。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

連続撮影 : Hi+ : シャッターボタンを押している間、最高速で連続撮影する。

連続撮影 : Hi / 連続撮影 : Mid / 連続撮影 : Lo : 連続撮影中もモニターまたはファインダーに被写体をリアルタイムに映し続けるため、被写体を追従しやすくなる。

ヒント

- 連続撮影中にピントと露出を合わせ続けるには、以下の設定に変更してください。
  - [フォーカスモード]を[コンティニュアスAF]にする。
  - [シャッター半押しAEL]を[切]または[オート]にする。

ご注意

- 絞り値がF11より大きいときは、[連続撮影 : Hi+]、[連続撮影 : Hi]、[連続撮影 : Mid]での連続撮影中はフォーカスが1枚目の撮影時の位置に固定されます。
- [連続撮影 : Hi+]で連続撮影中はモニター、ファインダーに映る被写体はリアルタイムのものではありません。
- 非圧縮RAWでの撮影時は連続撮影の速度が低下します。
- フラッシュ発光時は連続撮影の速度が低下します。

セルフタイマー（1枚）

静止

シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはシャッターボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

1 コントロールホイールの⏲/🖳(ドライブモード) → [セルフタイマー（1枚)]を選ぶ。

- MENU → 📷 (撮影) → [ドライブモード] → [ドライブモード]でも設定できます。

2 コントロールホイールの左/右で希望のモードを選ぶ。

シャッターボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

⏲10 セルフタイマー (1枚): 10秒

⏲5 セルフタイマー (1枚): 5秒

⏲2 セルフタイマー (1枚): 2秒

3 ピントを合わせてシャッターボタンを押す。

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押すか、コントロールホイールの⏲/🖳 (ドライブモード)を押します。
- セルフタイマーを解除するには、コントロールホイールの⏲/🖳 (ドライブモード)を押して□ (1枚撮影)を選びます。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、[電子音]を[切]にしてください。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードでブラケットを選択したうえで、MENU → 📷 (撮影) → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー]を選んでください。

画質や記録形式を設定する

JPEG/HEIF切換

静止画

記録する静止画のファイル形式(JPEG/HEIF)を切り換えます。
JPEG形式は互換性に優れ、さまざまな環境で閲覧や編集を行えます。
HEIF形式は圧縮効率に優れ、高画質のまま小さいファイル容量で記録できます。お使いのパソコンやソフトウェアによっては、HEIFファイルの表示や編集ができない場合があります。また、HEIF形式の静止画を再生するには、HEIFに対応した環境が必要です。カメラとテレビをHDMI接続することで、高画質な静止画をお楽しみいただけます。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [JPEG/HEIF切換] → 希望の設定を選ぶ。

JPEG：静止画をJPEG形式で現像し記録する。互換性を優先した設定。

HEIF（4:2:0）：静止画をHEIF（4:2:0)形式で現像し記録する。画質と圧縮効率を優先した設定。

HEIF（4:2:2）：静止画をHEIF（4:2:2)形式で現像し記録する。画質を優先した設定。

ヒント

- [JPEG/HEIF切換]の設定値によって、[ファイル形式]などで表示される項目がJPEGかHEIFに切り替わります。

ご注意

- 本機で撮影したHEIF画像のファイルは、HEIF形式に対応していない他のカメラでは表示されません。誤ってメモリーカードのフォーマットやファイルの削除を行わないようにご注意ください。
- HEIF形式で撮影する場合、[HLG静止画]が[切]のときは、sRGBの色空間で撮影されます。[HLG静止画]が[入]のときは、BT.2100の色空間(BT.2020色域)で撮影されます。

ファイル形式

静止画

静止画を記録するときのファイル形式を設定します。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [画質/画像サイズ設定] → [ファイル形式] → 希望の設定を選ぶ。

RAW : 現像処理前のデータが記録される。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

RAW+JPEG/RAW+HEIF : RAW画像とJPEGまたはHEIF画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEGまたはHEIF画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。

JPEG/HEIF : 画像がJPEGまたはHEIF形式で記録される。

- [記録メディア]を[振り分け]に設定しているときは、各スロットごとにRAWかJPEG、またはRAWかHEIFのどの形式で記録するかを選ぶことができます。

RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImaging Edge Desktop（98ページ）が必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- 本機で撮影したRAW画像は、1ピクセルに対して14ビットの分解能を持っています。ただし、以下の撮影時は、12ビットの分解能に制限されます。
  - [RAW記録方式]を[圧縮]に設定して[連続撮影]を行う場合
- [RAW記録方式]で、RAWデータの圧縮方式を変更できます。

ご注意

- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式またはHEIF形式で記録することをおすすめします。
- HEIF形式の静止画を再生するには、HEIFに対応した環境が必要です。

RAW記録方式

RAW画像の記録方式を選択します。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [画質/画像サイズ設定] → [RAW記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

非圧縮: 非圧縮RAW形式で記録する。[非圧縮]を選択すると、[圧縮]よりもファイルサイズが大きくなる。

圧縮: 圧縮RAW形式で記録する。ファイルサイズが[非圧縮]に比べておよそ半分になる。

ヒント

- RAW記録方式のアイコンは以下のように表示されます。
  - 非圧縮 : RAW
  - 圧縮 : RAW
- RAW画像のアスペクト比は常に3 : 2になります。RAW画像とJPEGまたはHEIF画像を同時に記録する場合、JPEGまたはHEIF画像は[アスペクト比]の設定で記録されます。
- RAW画像の画像サイズは、JPEG画像サイズのL相当となります。

ご注意

- スロット1とスロット2に異なる方式のRAW画像を記録することはできません。[記録メディア]を[振り分け]に設定している場合でも、各スロットの[RAW記録方式]は同じ設定になります。

JPEG画質/HEIF画質

JPEG画像またはHEIF画像を記録するときの画質を設定します。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [画質/画像サイズ設定] → [JPEG画質] / [HEIF画質] → 希望の設定を選ぶ。

エクストラファイン/ファイン/スタンダード：[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]の順に圧縮率が高くなるため、データ量が小さくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

- スロット1とスロット2に異なる画質のJPEG画像/HEIF画像を記録することはできません。[記録メディア]を[振り分け]に設定している場合でも、各スロットの[JPEG画質] / [HEIF画質]は同じ設定になります。

JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [画質/画像サイズ設定] → [JPEG画像サイズ] / [HEIF画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

フルサイズでの撮影時

[アスペクト比]が3：2のとき	
L: 12M	4240×2832画素
M: 5.1M	2768×1848画素
S: 3.0M	2128×1416画素

[アスペクト比]が4：3のとき	
L: 11M	3776×2832画素
M: 4.6M	2464×1848画素
S: 2.7M	1888×1416画素

[アスペクト比]が16：9のとき	
L: 10M	4240×2384画素
M: 4.3M	2768×1560画素
S: 2.6M	2128×1200画素

[アスペクト比]が1：1のとき	
L: 8.0M	2832×2832画素
M: 3.4M	1840×1840画素
S: 2.0M	1408×1408画素

APS-Cサイズ相当での撮影時

[アスペクト比]が3：2のとき	
L: 5.1M	2768×1848画素
M: 3.0M	2128×1416画素
S: 1.3M	1376×920画素

[アスペクト比]が4：3のとき	
L: 4.6M	2464×1848画素
M: 2.7M	1888×1416画素
S: 1.1M	1232×920画素

[アスペクト比]が16：9のとき	
L: 4.3M	2768×1560画素
M: 2.6M	2128×1200画素
S: 1.1M	1376×776画素

[アスペクト比]が1：1のとき	
L: 3.4M	1840×1840画素
M: 2.0M	1408×1408画素
S: 0.8M	912×912画素

ご注意

- RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- スロット1とスロット2に異なる画像サイズのJPEG画像/HEIF画像を記録することはできません。[📷 記録メディア]を[振り分け]に設定している場合でも、各スロットの[JPEG画像サイズ] / [HEIF画像サイズ]は同じ設定になります。

記録方式

📷/🎞

動画を記録するときの記録方式を設定します。

MENU → [撮影] → [画質/記録] → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

記録方式	特徴
XAVC HS 4K	XAVC HS方式で4K動画を撮影します。XAVC HS方式は圧縮効率の高いHEVCコーデックを使用しており、XAVC S方式と比べると同じデータ容量でより高画質の動画を記録することができます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S 4K	4K解像度(3840×2160)で記録できます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S HD	HD解像度(1920×1080)で記録できます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S-I 4K	XAVC S-I方式を使った動画を撮影します。 XAVC S-I方式は映像の圧縮にIntra圧縮方式を採用しており、Long GOP圧縮に比べて編集に適しています。
XAVC S-I HD	XAVC S-I方式を使った動画を撮影します。 XAVC S-I方式は映像の圧縮にIntra圧縮方式を採用しており、Long GOP圧縮に比べて編集に適しています。

- Intra/Long GOPは映像圧縮方式です。映像の圧縮を1フレーム毎に行っているのがIntra圧縮で、圧縮を複数フレームにまたがって行うのがLong GOP圧縮です。編集時のレスポンスや自由度はIntra圧縮の方が優れていますが、圧縮効率はLong GOP圧縮の方が優れています。
- 各フォーマットで記録できるメモリーカードについては、144ページをご覧ください。

ご注意

- XAVC HS 4K動画をスマートフォンやパソコンで再生するときは、HEVCコーデックに対応した処理能力の高い機器やソフトウェアが必要です。
- 4K動画撮影時は、[APS-C S35 撮影]は無効になり[切]に固定されます。
- APS-Cフォーマット専用レンズを装着した場合、画面の周辺部が暗くなることがあります。本機で4K動画を撮影する場合は35mmフルサイズ対応レンズのご使用をおすすめします。

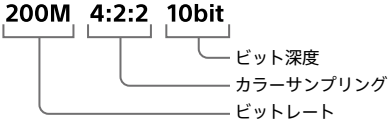
動画設定

フレームレート、ビットレート、色情報などを設定します。

1 MENU → /動画 (撮影) → [画質/記録] → [動画設定] → [記録フレームレート] → 希望の設定を選ぶ。

2 MENU → /動画 (撮影) → [画質/記録] → [動画設定] → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

設定値の例



- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- カラーサンプリング(4:2:2、4:2:0)は色情報の記録割合です。この割合が均等であるほど色再現性に優れており、グリーンバックなどを使用した合成時にもきれいに色を抜くことができます。
- ビット深度は輝度情報の階調です。8 bitの場合は256段階、10 bitの場合は1024段階の階調性を持ちます。この数字が大きいほど、明部から暗部までなめらかな表現が可能です。
- 4:2:2 10bitはパソコンによる編集を前提とした記録設定です。再生環境が限られています。

[記録方式]が[XAVC HS 4K]のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	200M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	150M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	75M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	45M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	50M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	50M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	30M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	280M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	200M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP

[記録方式]が[XAVC S 4K]のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	200M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	150M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
30p	140M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
30p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
30p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
120p	280M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	200M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP

[其他 記録方式]が[XAVC S HD]のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
60p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
60p	25M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
30p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
30p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
30p	16M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
24p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
24p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	100M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	60M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP

[其他 記録方式]が[XAVC S-I 4K]のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	600M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra
30p	300M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra
24p	240M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra

[其他 記録方式]が[XAVC S-I HD]のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	222M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra
30p	111M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra
24p	89M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra

ご注意

- 記録フレームレートは整数で表していますが、実際のフレームレートは以下のとおりです。
  24p：23.98 fps、30p：29.97 fps、60p：59.94 fps、120p：119.88 fps

S&Q スロー &クイック設定

肉眼では捉えられない一瞬を記録したり(スローモーション撮影)、長時間の現象を短い時間に短縮して記録したり(クイックモーション撮影)します。動きの激しいスポーツシーンや鳥が飛び立つ瞬間、花のつぼみの開花の様子、雲や星空が変化する様子などを記録できます。
音声は記録されません。

1 モードダイヤルをS&Q (スロー &クイックモーション)にする。

2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [S&Q 露出モード] → スロー &クイックモーションの希望の設定(プログラムオート、絞り優先、シャッタースピード優先、またはマニュアル露出)を選ぶ。

3 MENU → (撮影) → [画質/記録] → [S&Q スロー &クイック設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。

S&Q フレームレート設定: 記録する動画のフレームレートと撮影時のフレームレートを設定する。

S&Q 記録設定: 記録する動画のビットレート、カラーサンプリングおよびビット深度を選ぶ。

- [S&Q フレームレート設定]で設定できる[S&Q 記録フレームレート]と[S&Q 記録設定]で設定できる値は、[動画設定]の設定値と同じです。
- 記録される動画のフォーマットは、[記録方式](59ページ)の設定と同じになります。

4 MOVIE (動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- 撮影を終了するには、MOVIEボタンをもう一度押す。

再生速度について

[S&Q フレームレート設定]で設定した値によって、再生速度は以下のようになります。

S&Q フレームレート	S&Q 記録フレームレート			
	24p	**30p**	**60p**	**120p**
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー	2倍スロー
120fps	5倍スロー	4倍スロー	2倍スロー	通常の再生速度
60fps	2.5倍スロー	2倍スロー	通常の再生速度	2倍クイック
30fps	1.25倍スロー	通常の再生速度	2倍クイック	4倍クイック
15fps	1.6倍クイック	2倍クイック	4倍クイック	8倍クイック
8fps	3倍クイック	3.75倍クイック	7.5倍クイック	15倍クイック
4fps	6倍クイック	7.5倍クイック	15倍クイック	30倍クイック
2fps	12倍クイック	15倍クイック	30倍クイック	60倍クイック
1fps	24倍クイック	30倍クイック	60倍クイック	120倍クイック

- [記録方式]が以下のときは、[240fps]を選べません。
  - XAVC HS 4K
  - XAVC S 4K
  - XAVC S-I 4K

ご注意

- スロー &クイックモーション撮影では、実際の撮影時間と、動画として記録される時間が異なります。モニター上部に表示される記録可能時間は、メモリーカードの残り撮影時間ではなく、動画としての残り記録時間を表します。
- スローモーション撮影ではシャッター速度が速くなるため、充分な露出が得られない場合があります。その場合は、絞り値を小さく設定するか、ISO感度を高く設定してください。
- スロー &クイックモーション撮影時は以下の機能は使用できません。
  - [TC/UB]の[Time Code Run]
  - [HDMI出力設定]の[Time Code出力]
- 使用できるメモリーカードについては、ヘルプガイドをご覧ください。

Px プロキシー設定

動画撮影時およびスロー＆クイックモーション撮影時に、低ビットレートのプロキシー動画を同時に記録することができます。
プロキシー動画はファイルサイズが小さいため、スマートフォンへの転送やWebサイトへのアップロードに適しています。

MENU → (撮影) → [画質/記録] → [Px プロキシー設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。

Px プロキシー記録：プロキシー動画を同時に記録するかどうか選ぶ。([入] / [切])

Px プロキシー記録方式：記録するプロキシー動画の記録方式を選ぶ。([XAVC HS HD] / [XAVC S HD])

Px プロキシー記録設定：記録するプロキシー動画のビットレート、カラーサンプリングおよびビット深度を選ぶ。([16M 4:2:0 10bit] / [9M 4:2:0 10bit] / [6M 4:2:0 8bit])

選択可能なプロキシー記録設定

Px プロキシー記録方式	記録サイズ	記録フレームレート	Px プロキシー記録設定	圧縮コーデック
XAVC HS HD	1920×1080	最大60p	16Mbps 4:2:0 10bit	MPEG-H HEVC/H.265
			9Mbps 4:2:0 10bit	
XAVC S HD	1280×720	最大60p	6Mbps 4:2:0 8bit	MPEG-4 AVC/H.264

ヒント

- 再生画面(1枚再生画面または一覧表示画面)には、プロキシー動画は表示されません。プロキシー動画が同時に記録された動画には、Pxが表示されます。

ご注意

- プロキシー動画は本機では再生できません。
- 下記の場合はプロキシー記録はできません。
  通常動画の場合
  – [記録フレームレート]が[120p]のとき
  スロー&クイックモーション動画の場合
  – [S&Q 記録フレームレート]が[120p]のとき
  – [S&Q フレームレート]が[120fps]以上のとき
- プロキシー動画がある動画を削除/プロテクトすると、オリジナル動画とプロキシー動画の両方が削除/プロテクトされます。オリジナル動画だけ、またはプロキシー動画だけを削除/プロテクトすることはできません。
- 本機では動画の編集はできません。
- プロキシー記録時は、より高速なメモリーカードが必要になることがあります。

APS-C S35 撮影

静止画撮影時はAPS-Cの画角、動画撮影時はSuper35mm相当の画角で記録するかどうかを設定します。[入]または[オート]に設定することで、APS-Cサイズ専用レンズも本機で使用できます。

MENU → /撮影 (撮影) → [画質/記録] → [APS-C S35 撮影] → 希望の設定を選ぶ。

入： APS-CサイズまたはSuper35mmサイズで記録する。[入]にすると、レンズ記載の焦点距離の約1.5倍相当の画角になります。

オート： レンズにより、自動的に記録範囲を決定する。

切： 常に35mmフルサイズで撮影する。

ご注意

- APS-C用レンズを装着して、[APS-C S35 撮影]を[切]にすると、画像の周辺部が暗くなるなど、撮影がうまくいかないことがあります。
- 4K動画撮影時は、[APS-C S35 撮影]は無効になり[切]に固定されます。

撮影時のタッチ機能

本機では、ピントを合わせるときに二つのタッチ機能を使うことができます。

タッチフォーカス
ピントを合わせる位置をタッチ操作で指定できます。

タッチトラッキング
モニター上でタッチした被写体にピントを合わせ続けます。被写体が動いても追尾します。

タッチシャッター
タッチした場所に自動でピントを合わせて静止画を撮影できます。

タッチパッド操作について

モニターを直接見ながらタッチするタッチパネル操作のほか、ファインダーをのぞいたままモニターをタッチして操作するタッチパッド操作ができます。
MENU → (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチパネル/タッチパッド]でどちらの操作を有効にするか選びます。

タッチ機能について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

ヒント

- [タッチ感度]を[敏感]に設定することで、タッチ反応が良くなります。

ご注意

- 手袋などをして操作すると、モニターが反応しないことがあります。

撮影中の画面表示を設定する

オートレビュー

撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。オートレビューの表示時間を設定します。

MENU → (セットアップ) → [表示オプション] → [オートレビュー] → 希望の設定を選ぶ。

10秒/5秒/2秒：設定した秒数だけ表示する。オートレビュー中に拡大操作をすると、撮影した画像を拡大再生して確認することができる。

切：オートレビューしない。

ご注意

- 画像処理をする機能を使用している場合、画像処理をする前の画像を一時的に表示してから、画像処理が適用された画像を表示することがあります。
- オートレビューは、DISP（画面表示切換）で設定したモードで表示されます（33ページ）。

撮影結果プレビュー

[撮影結果プレビュー]の機能を割り当てたキーを押している間、設定したDRO、シャッタースピード、絞り値、感度が反映され、撮影前に撮影結果を確認できます。

1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定] → 希望のキーに [撮影結果プレビュー]の機能を設定する。

2 静止画撮影時に[撮影結果プレビュー]の機能を割り当てたキーを押して、画像を確認する。

ヒント

- [撮影結果プレビュー]では、DROの結果とシャッタースピードの値と絞りの値と感度がプレビューに反映されますが、撮影設定によっては、プレビューに反映できない場合もあります。その場合でも、撮影する画像には設定が反映されます。

マーカー表示(動画)

動画撮影時に、マーカーをモニターまたはファインダーに表示するかどうかや、表示するマーカーの種類を設定します。
静止画撮影時のマーカー表示について詳しくは、本体ソフトウェアVer.3.0以降のヘルプガイドをご覧ください。

MENU → (撮影) → [マーカー表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

マーカー表示：マーカーを表示するかどうか設定する。([入] / [切])

センターマーカー：撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。([切] / [入])

アスペクトマーカー：アスペクトマーカー表示の設定をする。([切] / [4 : 3] / [13 : 9] / [14 : 9] / [15 : 9] / [1.66 : 1] / [1.85 : 1] / [2.35 : 1])

セーフティゾーン：セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。([切] / [80%] / [90%])

ガイドフレーム：ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。([切] / [入])

ヒント

- 複数のマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム]の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ご注意

- マーカー表示は、モードダイヤルが (動画)のとき、S&Q (スロー &クイックモーション)のとき、または動画記録中に表示されます。
- [ピント拡大]中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、モニターまたはファインダーのみに表示されます。(外部に出力することはできません。)

動画の音声を記録する

音声記録

動画撮影時に音声を記録するかどうかを設定します。撮影中のレンズやカメラの動作音などが記録されるのを防ぎたい場合は[切]を選びます。この機能は、スロー &クイックモーション撮影時には使用できません。

MENU → (撮影) → [音声記録] → [音声記録] → 希望の設定を選ぶ。

入：撮影時に音声を記録する。

切：撮影時に音声を記録しない。

録音レベル

レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。
この機能は、スロー &クイックモーション撮影時には使用できません。

1 MENU → (撮影) → [音声記録] → [録音レベル]を選ぶ。

2 コントロールホイールの左/右で希望のレベルを選ぶ。

+側：録音レベルが上がる。

−側：録音レベルが下がる。

ヒント

- 大きな音の動画を録画する場合は、[録音レベル]を低めに設定すると臨場感のある音声が記録できます。小さな音の動画を録画する場合は、[録音レベル]を高めに設定することで聞きやすい音声で記録できます。適正なレベルになっているかどうかは、カメラにヘッドホンを接続して確認するか、カメラ本体のレベルメーターで確認してください。
- 録音レベルを初期値に戻すには、🗑(削除)ボタンを押してください。

ご注意

- [録音レベル]の設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル]は撮影モードが動画のときのみ選べます。
- [録音レベル]の調整は、内蔵マイクと🎤(マイク)端子入力に対して有効です。

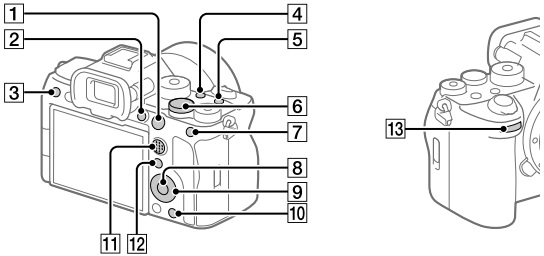
よく使う機能をボタンやダイヤルに割り当てる（カスタムキー /ダイヤル設定）

カスタムキー機能を使って、よく使う機能を自分が操作しやすいボタンやダイヤルに割り当てると便利です。MENUから機能を選択する手順が省略できるため、すばやく機能を呼び出すことができます。

カスタムキーには、静止画撮影時の機能、動画撮影時の機能、再生時の機能をそれぞれ別々に割り当てることができます。

- ボタンやダイヤルによって割り当てられる機能が異なります。

以下のボタンやダイヤルに希望の機能を割り当てられます。



1 AF-ONボタン
2 カスタムボタン1
3 カスタムボタン3
4 カスタムボタン2
5 MOVIEボタン
6 後ダイヤル
7 AELボタン
8 中央ボタン
9 コントロールホイール / 左ボタン / 右ボタン / 下ボタン
10 カスタムボタン4
11 マルチセレクターの中央ボタン
12 Fn/ボタン
13 前ダイヤル

ここでは、AELボタンに[瞳AF]機能を割り当てる手順を説明します。

1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定]を選ぶ。

- 動画撮影時に呼び出したい機能を設定する場合は[カスタムキー /ダイヤル設定]を、再生時に呼び出したい機能を設定する場合は[カスタムキー設定]を選びます。
- [カスタムキー /ダイヤル設定]と[カスタムキー /ダイヤル設定]は、MENU → (セットアップ) → [ダイヤルカスタマイズ]からも選ぶことができます。

2 コントロールホイールの上/下で[背面1]画面へ移動し、[AELボタン]の場所を選んで中央を押す。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で、[瞳AF]を選んで中央を押す。

- 撮影時にAELボタンを押すと、瞳が検出された場合は[瞳AF]が働き、瞳にピントが合います。AELボタンを押したままの状態で撮影をしてください。

ダイヤル/ホイールの機能を撮影モードで使い分けるには

ダイヤル/ホイールに機能を割り当てるときに[Mモードとその他のモードを分ける]にチェックを入れると、[マニュアル露出]時とそれ以外の露出モード時([おまかせオート] / [プログラムオート] / [絞り優先] / [シャッタースピード優先])で別の機能を割り当てることができます。また、[カスタムキー /ダイヤル設定]の設定時に[フレキシブル露出モードとおまかせオートを分ける]にチェックを入れると、[フレキシブル露出モード]時と[おまかせオート]時で別の機能を割り当てることができます。

ヒント

- カスタムキーの設定画面で、機能を割り当てられるボタンを押すと、押したボタンの項目に移動できます(一部のボタンを除きます)。
- レンズのフォーカスホールドボタンにも撮影時の機能を割り当てることができます。ただし、お使いのレンズによってはフォーカスホールドボタンがない場合があります。

一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）

前/後ダイヤルとコントロールホイールにそれぞれお好みの機能を割り当てて、その組み合わせを「マイダイヤル」として3つまで登録できます。登録した「マイダイヤル」は、あらかじめ設定したカスタムキーを押すことで、すばやく呼び出したり切り換えたりすることができます。

マイダイヤルに機能を登録する

前/後ダイヤルとコントロールホイールに割り当てる機能を、［マイダイヤル1］～［マイダイヤル3］として登録します。

① MENU → (セットアップ) → ［ダイヤルカスタマイズ］ → ［マイダイヤル設定］を選ぶ。

② (マイダイヤル1)に割り当てるダイヤルまたはホイールを選び、コントロールホイールの中央を押す。

③ コントロールホイールの上/下/左/右で割り当てたい機能を選び、中央を押す。

- 機能を割り当てたくないダイヤルまたはホイールは、「--」(未設定)のままにしてください。

④ 手順2、3を繰り返して、(マイダイヤル1)のダイヤルまたはホイールの機能をすべて選択したら、［OK］を選ぶ。

(マイダイヤル1)の設定が登録される。

- (マイダイヤル2)、(マイダイヤル3)も登録する場合は、上記と同様の手順で登録してください。

マイダイヤルを呼び出すキーを設定する

登録した「マイダイヤル」を呼び出すためのカスタムキーを設定します。

① MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定]または [カスタムキー /ダイヤル設定] → マイダイヤルを呼び出すキーとして使用したいキーを選ぶ。

② 呼び出したいマイダイヤルの番号やマイダイヤルの切り換え方式を選ぶ。

押す間マイダイヤル1/押す間マイダイヤル2/押す間マイダイヤル3：キーを押している間、[マイダイヤル設定]で登録した機能がダイヤル/ホイールに割り当てられる。

マイダイヤル1→2→3：キーを押すたびに、「通常の機能 → マイダイヤル1の機能 → マイダイヤル2の機能 → マイダイヤル3の機能 → 通常の機能」と変更される。

再押しマイダイヤル1/再押しマイダイヤル2/再押しマイダイヤル3：キーを押し続けなくても[マイダイヤル設定]で登録した機能が維持される。再度キーを押すと、通常の機能に戻ります。

マイダイヤルを切り換えて撮影する

撮影時にカスタムキーでマイダイヤルを呼び出し、前/後ダイヤルやコントロールホイールを回して撮影設定を変えながら撮影を行うことができます。

ご注意

- すべてのダイヤル/ホイールが[未設定]に設定されているマイダイヤルは、カスタムキーを押しても呼び出されません。[マイダイヤル1→2→3]でもスキップされます。
- [操作部のロック]機能でダイヤル/ホイールがロックされていても、マイダイヤルを呼び出した場合はダイヤル/ホイールのロックが一時的に解除されます。

撮影設定の登録と呼び出し

MR 撮影設定登録

よく使うモードやカメラの設定を、本機に3つまで、メモリーカードには4つ(M1～M4)まで登録でき、モードダイヤルで簡単に呼び出せます。

1 本機を登録したい設定にする。

2 MENU → /撮影 (撮影) → [撮影モード] → [MR 撮影設定登録] → 登録先の番号を選ぶ。

3 コントロールホイールの中央で決定する。

登録できる項目

- 撮影に関するさまざまな機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- 絞り(F値)
- シャッタースピード

登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

ご注意

- M1～M4はカメラにメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。
- メモリーカードに登録する場合、[MR 登録/呼出メディア]で選択されているメモリーカードスロットのメモリーカードに登録されます。
- プログラムシフトは登録できません(37ページ)。

MR 撮影設定呼び出し

[MR 撮影設定登録]で登録したお好みの撮影設定を呼び出して撮影を行うことができます。

モードダイヤルを1、2、3（MR 撮影設定呼び出し）にする。

- メモリーカードに登録された設定を呼び出すには、MENU → (撮影) → [撮影モード] → [MR 撮影設定呼び出し]でお好みの番号を選んでください。

ヒント

- メモリーカードに登録された設定を呼び出す場合、[MR 登録/呼出メディア]で選択されているメモリーカードスロットのメモリーカードから呼び出されます。MENU → (撮影) → [撮影モード] → [MR 登録/呼出メディア]でスロットを確認できます。
- 他の同型名の機種でメモリーカードに登録された設定を、本機で呼び出すこともできます。

ご注意

- 撮影に関する設定を行ったあとで[MR 撮影設定呼び出し]を行うと、呼び出された[MR 撮影設定登録]の値が優先され、最初に行った設定が無効になる場合があります。モニターで設定値を確認してから撮影してください。
- 記録先スロットが切り換わる場合、モードダイヤルを1/2/3に設定しても、メモリーカードへの書き込みが完了するまでは撮影設定は変更されません。

カスタム撮影設定登録

撮影時の設定(露出、フォーカス設定、ドライブモードなど)をあらかじめカスタムキーに登録しておき、キーを押している間だけ一時的に呼び出して使うことができます。カスタムキーを押すだけで瞬時に設定を切り換えられ、キーを離すと元の設定値に戻るため、状況が変化しやすいスポーツシーンなどの撮影に便利です。

1 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [カスタム撮影設定登録] → [押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]から登録先の番号を選ぶ。

選択した番号の設定画面が表示される。

2 コントロールホイールの上/下/左/右で[押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]で呼び出したい機能のチェックボックスを選び、中央を押す。

機能のチェックボックスに ✓ マークがつく。

- 解除したい場合は、もう一度中央を押します。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で設定したい機能を選び、中央を押して各機能を希望の設定にする。

- [現在の設定を取り込む]を選ぶと、現在のカメラの設定を、指定した[押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]の番号に取り込むことができます。

4 [登録]を選ぶ。

登録できる項目

- 撮影に関するさまざまな機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- 露出
- フォーカス設定
- ドライブモード（セルフタイマー以外）

登録した設定を呼び出すには

① MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー /ダイヤル設定] → 希望のキーを選び、[押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]の番号を選ぶ。

② 撮影画面で[押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]の機能を割り当てたボタンを押しながら、シャッターボタンを押して撮影する。

カスタムキーを押している間、登録した撮影設定が呼び出される。

ヒント

- [カスタムキー /ダイヤル設定]でカスタムキーに[押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]を割り当てたあと、[カスタム撮影設定登録]の設定を変更することもできます。

ご注意

- [押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]は、撮影モードがP/A/S/Mのときのみ有効です。
- [押す間カスタム設定呼出1] ～ [押す間カスタム設定呼出3]の実行時に装着しているレンズやカメラの状態によっては、登録した設定にならない場合があります。

よく使う機能をファンクションメニューに登録する

ファンクションメニューとは、Fn（ファンクション）ボタンを押すと画面下部に表示される12個の機能メニューです（29ページ）。
静止画撮影時の機能と動画撮影時の機能を12個ずつ別々に登録することができます。再生時のファンクションメニューについて詳しくは、本体ソフトウェアVer.3.0以降のヘルプガイドをご覧ください。

ここでは、静止画用ファンクションメニューの［クリエイティブルック］を［グリッドライン表示］に変更する手順を説明します。

- 動画用ファンクションメニューを変更する場合は、手順2で動画用のファンクションメニューから変更する項目を選んでください。

1 MENU → (セットアップ) → ［操作カスタマイズ］ → ［Fnメニュー設定］を選ぶ。

2 コントロールホイールの上/下/左/右で静止画用の12個のファンクションメニューのうちの (クリエイティブルック）を選び、中央を押す。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で［グリッドライン表示］が表示される画面へ移動し、［グリッドライン表示］を選んで中央を押す。

- ファンクションメニューで (クリエイティブルック）が設定されていた場所に、(グリッドライン表示）が表示されるようになります。

ヒント

- ［タッチ操作］が［入］で［タッチパネル設定］の［撮影画面］で［撮影画面］が［入］のときは、ファンクションメニュー中のアイコンを長押しすることでも［Fnメニュー設定］を開くことができます。

よく使う機能をマイメニュータブに登録する

MENUの☆(マイメニュー)に、お好みのメニュー項目を登録することができます。

1 MENU → ☆(マイメニュー) → [マイメニュー設定] → [項目の追加]を選ぶ。

2 コントロールホイールの上/下/左/右で、☆(マイメニュー)に追加したい項目を選ぶ。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で、追加する位置を選ぶ。

MENU画面からマイメニューに追加するには

選択しているメニュー項目を、MENU画面から☆(マイメニュー)に追加することもできます。

① ☆(マイメニュー)に追加したいメニュー項目にカーソルが当たっている状態で、🗑(削除)ボタンを押す。

コンテキストメニューが表示される。

- [タッチ操作]が[入]に設定されているときは、メニュー項目をタッチで長押しすることでもコンテキストメニューが表示されます。

② [マイメニューに追加]を選ぶ。

③ コントロールホイールの上/下/左/右で、追加する位置を選ぶ。

ヒント

- ☆(マイメニュー)には最大42個の項目を追加することができます。

ご注意

- ☆(マイメニュー)には、以下の項目は追加できません。
  – MENU → ▶(再生)内のすべての項目

ファインダー /モニターの表示を設定する

ファインダー /モニター選択

ファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定します。

MENU → (セットアップ) → [ファインダー /モニター] → [ファインダー /モニター選択] → 希望の設定を選ぶ。

オート: 1 : ファインダーをのぞくと、自動的にファインダー画面に切り替わる。モニターの開閉や角度の状態によってはアイセンサーが無効になり、ファインダー画面に切り替えない。

オート: 2 : ファインダーをのぞくと、自動的にファインダー画面に切り替わる。アイセンサーが常に働き、モニターの開閉や角度の状態によらずファインダー画面に切り替わる。

ファインダー（マニュアル）: モニターは消灯し、ファインダーのみに画像を表示する。

モニター（マニュアル）: ファインダーは消灯し、常にモニターのみに画像を表示する。

ヒント

- ファインダー /モニター表示切り換え機能をお好みのキーに割り当てることができます。[カスタムキー /ダイヤル設定]、[カスタムキー /ダイヤル設定]または[カスタムキー設定] → 希望のキーに[ファインダー /モニター切換]を設定してください(74ページ)。

• ファインダー表示またはモニター表示を固定したい場合は、
［ファインダー /モニター選択］を［ファインダー（マニュアル）］または
［モニター（マニュアル）］に設定してください。
DISPボタンを使ってモニター表示を［モニター消灯］にすると、撮影時にファインダーから目を離してもモニターが点灯しなくなります。あらかじめ、
［DISP（画面表示）設定］→［背面モニター］で、［モニター消灯］にチェックマークを入れてください（85ページ）。

ご注意

• 太陽などの強い光源下では、アイセンサーが接眼を検知できず、
［ファインダー /モニター選択］が［オート: 1］または［オート: 2］に設定されていてもファインダー表示に切り替わらないことがあります。そのような場合はアイセンサーに光があたらないようにしてください。
• ［オート: 2］に設定している場合にモニターや手でアイセンサーを覆うと、アイセンサーが働いて意図せずモニターが消灯する場合があります。その場合は、
［オート: 1］または［モニター（マニュアル）］に設定してください。

DISP（画面表示）設定（背面モニター /ファインダー）

撮影時に、DISP（画面表示切換）で選択できる画面表示モードを設定します。

**MENU → （セットアップ） → ［操作カスタマイズ］ →
［DISP（画面表示）設定］ → ［背面モニター］または
［ファインダー］ → 希望の設定を選び、［実行］を選んで決定する。**
✓がついている項目が選択できるモードになる。

全情報表示： 撮影情報を表示する。

情報表示 なし： 撮影情報を表示しない。

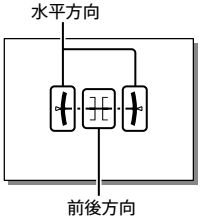
ヒストグラム： 画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

水準器：カメラの前後方向、水平方向の傾きを指標で示す。水平、平衡状態のときは、表示が緑色になる。

ファインダー撮影用*：モニターには被写体を表示せず、撮影情報のみを表示する。ファインダー撮影用の表示設定。

モニター消灯*：撮影時は常にモニターが消灯するが、再生時やMENU操作時はモニターを使用できる。ファインダー撮影用の表示設定。

* ［背面モニター］の設定時のみ選択できる画面表示モードです。



ご注意

- カメラを前または後に大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなります。
- 水準器で傾きがほぼ補正された状態でも±1°程度の誤差が生じることがあります。

メモリーカードの設定

フォーマット

📷/🎞

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 MENU → 📷/🎞 (撮影) → [メディア] → [フォーマット] → 希望のメモリーカードスロットを選ぶ。

2 [実行]を選ぶ。(クイックフォーマット)

- 🗑 (削除)ボタンを押すと、フルフォーマットを行うメッセージが表示されます。[実行]を押すと、フルフォーマットが始まります。

クイックフォーマットとフルフォーマットの違い

フルフォーマットは、カードへの記録/読み出し速度が遅くなったと感じるときや、データを完全に消去するときなどに実行してください。フルフォーマットは、メモリーカードの全領域を初期化するため、クイックフォーマットよりも時間がかかります。

ヒント

- 撮影画面でMENUボタン、🗑 (削除)ボタンの順に、2つのボタンを2秒程度同時に押し続けても、メモリーカードをフォーマットする画面を表示できます。
- フルフォーマット実行中に、途中でキャンセルすることができます。フルフォーマットを途中でキャンセルしても、データの消去は完了しています。そのままメモリーカードを使用できます。

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報(M1~M4) (78ページ)も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。
- フォーマット中はアクセスランプが点灯します。点灯中はメモリーカードを抜かないでください。
- メモリーカードのフォーマットは、本機で行ってください。パソコンでメモリーカードのフォーマットを行うと、フォーマットの形式によってはメモリーカードが使えなくなることがあります。
- メモリーカードによっては、フォーマットに数分かかる場合があります。
- バッテリー残量が1%未満のときは、フォーマットできません。

記録メディア設定

静止画/動画

記録メディア/記録メディア

2つのメモリーカードにどのように記録するかを設定します。
お買い上げ時は[スロット 1]に設定されています。設定を変えずに1枚だけ使用する場合は、スロット1を使用してください。

MENU → 静止画/動画 (撮影) → [メディア] → [記録メディア設定] → [記録メディア]または[記録メディア] → 希望の設定を選ぶ。

スロット 1 : スロット1のメディアに記録する。

スロット 2 : スロット2のメディアに記録する。

同時記録 : 同じ画像を同時に2つのメモリーカードに記録する。

振り分け* : ファイル形式の異なる静止画をそれぞれのスロットに振り分けて記録する。静止画のファイル形式をスロットごとに設定してください。

* [記録メディア]の設定時のみ選択できます。

記録メディア自動切換

記録中のメモリーカードの容量がいっぱいになったときやメモリーカードを入れ忘れたときに、もう一方のメモリーカードに画像を記録することができます。
記録されるスロットの切り換わりかたについては、ヘルプガイドをご覧ください。

MENU → 撮影 → [メディア] → [記録メディア設定] → [記録メディア自動切換] → 希望の設定を選ぶ。

入：記録中のメモリーカードの容量がいっぱいになったときやメモリーカードを入れ忘れたときに、自動的にもう一方のメモリーカードに画像を記録する。

切：[記録メディア自動切換]を行わない。

ヒント

- モニターのメモリーカードアイコンに矢印が表示されている方のスロットに画像が記録されます。[記録メディア自動切換]で記録先のスロットが切り換わったときは、元のスロットのメモリーカードを記録可能なメモリーカードに交換してください。
- ひとつのメモリーカードに静止画と動画を記録しているときは、スロットが切り換わると[記録メディア]と[記録メディア]の設定も自動で切り換わります。切り換わる前のスロットに記録したいときは、[記録メディア] / [記録メディア]で希望のスロットを選び直してください。
- [記録メディア]と[記録メディア]の設定のとおりに記録したい場合は、[記録メディア自動切換]を[切]に設定してください。

ファイルの設定

ファイル/フォルダー設定

静 動

撮影する静止画のフォルダーやファイル名に関する設定をします。

MENU → (撮影) → [ファイル] → [ファイル/フォルダー設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

ファイル番号：静止画のファイル番号の付けかたを設定する。
［連番］：フォルダーごとにファイル番号をリセットしない。
［リセット］：フォルダーごとにファイル番号をリセットする。

ファイル番号強制リセット：静止画のファイル番号をリセットし、新しいフォルダーを作成する。

ファイル名設定：ファイル名の先頭3文字を設定する。

フォルダー形式：フォルダー名の付けかたを設定する。
［標準形式］：フォルダー名が、フォルダー番号＋任意の5文字になる。
例：100MSDCF
［日付形式］：フォルダー名が、フォルダー番号＋年月日（西暦下1桁月日4桁）になる。例：10040405（100フォルダー、2024年4月5日）

ヒント

- ［ファイル番号］と［ファイル名設定］の設定は、スロット1/スロット2の両方に適用されます。
- ［ファイル番号］を［連番］に設定していると、［記録メディア設定］→［記録メディア］の設定をスロット1/スロット2で入れ替えても、スロット間をまたいで連続したファイル番号が割り振られます。
- ［フォルダー形式］が［標準形式］のときのフォルダー名末尾の5文字は、［フォルダー新規作成］で設定できます。
- ［ファイル番号強制リセット］でも、フォルダー名末尾の5文字を設定できます。

ご注意

- [ファイル名設定]で入力できるのは、大文字のアルファベット、数字、アンダーバーのみです。ただし、1文字目にアンダーバーは使用できません。
- [ファイル名設定]で設定したファイル名3文字は、設定後に撮影した画像にのみ適用されます。

ファイル設定

撮影する動画のファイル名に関する設定をします。

MENU → (撮影) → [ファイル] → [ファイル設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

ファイル番号：動画のファイル番号の付けかたを設定する。
[連番]：メモリーカードを入れ替えても、ファイル番号がリセットされない。
[リセット]：メモリーカードを入れ替えると、ファイル番号がリセットされる。

連番カウンターリセット：[ファイル番号]が[連番]のときに使用される、カメラ内に保持された連番カウンターをリセットする。

ファイル名形式：動画のファイル名形式を設定する。
[標準]：ファイル名が、C+ファイル番号になる。例：C0001
[タイトル]：ファイル名が、タイトル+ファイル番号になる。
[日付+タイトル]：ファイル名が、日付+タイトル+ファイル番号になる。
[タイトル+日付]：ファイル名が、タイトル+日付+ファイル番号になる。

タイトル名設定：[ファイル名形式]が[タイトル]、[日付+タイトル]、[タイトル+日付]のときのタイトルを設定する。

ヒント

- [ファイル番号]と[ファイル名形式]の設定は、スロット1/スロット2の両方に適用されます。
- [ファイル番号]を[連番]に設定していると、[記録メディア設定] → [記録メディア]の設定をスロット1/スロット2で入れ替えても、スロット間をまたいで連続したファイル番号が割り振られます。

ご注意

- [タイトル名設定]で入力できるのは、アルファベット、数字、記号です。37文字まで入力できます。
- [タイトル名設定]で設定したタイトルは、設定後に記録した動画のみに適用されます。
- 動画のフォルダー形式は変更できません。
- SDHCメモリーカードを使用している場合は、[ファイル名形式]は[標準]に固定されます。
- [ファイル名形式]を以下に設定して記録したメモリーカードを本機以外に挿入すると、正常に動作しないことがあります。
  - [タイトル]
  - [日付+タイトル]
  - [タイトル+日付]
- ファイル削除などにより未使用になったファイル番号があると、ファイル番号が9999になったあとに動画を記録した場合に、未使用の番号が付けられることがあります。

本体の設定

パワーセーブ開始時間

静止画 / 動画

操作していないときにパワーセーブ(省電力)モードになるまでの時間を設定します(PCやスマートフォンから給電されている場合を除く)。シャッターボタン半押しなどの操作をすれば、撮影を再開できます。

MENU → (セットアップ) → [電源オプション] → [パワーセーブ開始時間] → 希望の設定を選ぶ。

30分/5分/2分/1分/10秒

ご注意

- 長時間使わないときは、電源を「OFF」にしてください。
- [30分]に設定したときは、通常より消費電力が増えます。
- 以下のときなどはパワーセーブ機能は働きません。
  - パソコンなど他機器からのUSB給電時
  - スライドショー中
  - FTP転送中
  - 動画撮影時
  - パソコンやテレビと接続しているとき
  - [赤外線リモコン]が[入]のとき
  - [Bluetoothリモコン]が[入]のとき
  - Creators' Cloudに画像をアップロード中

USB給電

本機とパソコン、またはUSB機器をUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定します。

MENU → (セットアップ) → [USB] → [USB給電] → 希望の設定を選ぶ。

入 : USBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電する。

切 : USBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電しない。

USB給電時にできること

USB給電時に行える操作と行えない操作は、以下の通りです。
行える操作は○で、行えない操作は×で表しています。

操作	行える/行えない
撮影	○
再生	○
Wi-Fi/NFC/Bluetooth接続	○
バッテリーの充電	×
バッテリーを入れずにカメラの電源を入れる	×

ご注意

- USB給電を行うには、バッテリーをカメラに挿入してください。
- 本機は、マルチ/マイクロUSB端子からはUSB給電できません。USB Type-C端子をお使いください。

設定の保存/読込

本機の設定をメモリーカードに保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。同じ型名のほかのカメラの設定を読み込むこともできます。

MENU → (セットアップ) → [設定初期化/保存] → [設定の保存/読込] → 希望の項目を選ぶ。

読み込み：メモリーカードから設定ファイルを読み込んで本機に反映する。

保存：現在の本機の設定をメモリーカードに保存する。

削除：メモリーカードに保存された設定ファイルを削除する。

ヒント

- 保存対象の設定項目については、ヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- ひとつのメモリーカードに10個まで設定を保存できます。設定ファイルが10個保存されている場合は[新規保存]を行えません。[削除]で既存の設定ファイルを削除するか、既存の設定ファイルに上書きで保存してください。
- スロット1のメモリーカードが保存/読み込みの対象になります。保存先や読み込み先のスロットを変更することはできません。
- 型名が異なるカメラの設定を読み込むことはできません。
- 型名が同じカメラでも、本体ソフトウェアのバージョンが異なる場合は設定を読み込めないことがあります。
- [MR 撮影設定登録]で登録した設定は本機能で保存できますが、モードダイヤルが1/2/3（MR 撮影設定呼び出し）になっていると設定できません。モードダイヤルを1/2/3以外の位置にしてから、操作してください。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

MENU → (セットアップ) → [設定初期化/保存] → [設定リセット] → 希望の設定を選ぶ。

撮影設定リセット：主な撮影モードの設定のみを初期値に戻す。静止画撮影と動画撮影の両方の設定値が初期化される。

初期化：カメラのすべての設定を初期化する。

ご注意

- 設定リセット中はバッテリーを抜かないでください。
- [ピクチャープロファイル]で設定した値は、[撮影設定リセット]、[初期化]のいずれを行った場合もリセットされません。
- [静止画/動画独立設定]の[ピクチャープロファイル]のチェックマークは、[撮影設定リセット]、[初期化]のいずれを行った場合もリセットされません。

スマートフォンでできること (Creators' App)

スマートフォン用アプリケーションCreators' Appを使って、スマートフォンからカメラを操作して画像を撮影したり、カメラで撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。
Creators' Appは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Creators' Appについては、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.sony.net/ca/

ヒント

- カメラに表示されるQRコードをスマートフォンで読むことにより、Creators' Appをインストールすることもできます。

ご注意

- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

対応するスマートフォン

最新の情報はサポートページでご確認ください。
https://www.sony.net/ca/help/mobile/

- お使いのスマートフォンが対応しているBluetooth規格のバージョンは、スマートフォンの製品サイトでご確認ください。

パソコンで写真を管理・編集する

USBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続したり、カメラのメモリーカードをパソコンに入れることで、撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。

ソフトウェアシリーズImaging Edge Desktopを使うと、パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影したRAW画像の調整・現像などができます。

パソコン用ソフトウェアについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。
https://www.sony.net/disoft/

Creators' Cloudについて

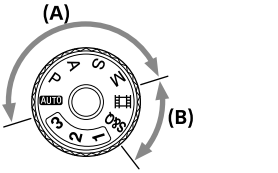
Creators' Cloudは、制作アプリケーションやサービスが一体となったクラウドソリューションです。クリエイターが制作を行うのに必要なサービスとアプリケーションが取り揃えられています。

国や地域によって、Creators' Cloudの提供や対応しているサービスが異なります。

Creators' Cloudの詳細や、各種サービスの対応状況については以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.sony.net/cc/

MENU一覧

MENUの使いかたは、「MENUボタン」(23ページ)をご覧ください。
モードダイヤルの位置によって、表示されるメニュー項目が異なります(20ページ)。
以下の表では、どのモードのときに表示されるメニュー項目かを静止画／動画のアイコンで示しています。



📷/🎞 : モードダイヤルが**(A)**静止画撮影モードのときに表示される項目

📷/🎞 : モードダイヤルが**(B)**動画撮影モードのときに表示される項目

📷/🎞 : モードダイヤルが**(A)**静止画撮影モード、**(B)**動画撮影モードのどちらでも表示される項目

- モードダイヤルが1/2/3 (MR 撮影設定呼び出し)のときは、登録されているモードに従います。

⌂ (メイン)タブ

撮影設定の内容を一覧表示します。詳しくは「メインメニュー (撮影設定一覧)」(26ページ)をご覧ください。

📷/🎞 (撮影)タブ

画質/記録		
📷/🎞	**JPEG/HEIF切換**	静止画のファイル形式をJPEG/HEIFのどちらかに切り換える。

	画質/画像サイズ設定	静止画の画質や画像サイズに関する設定をする。
	アスペクト比	静止画の縦横比を選択する。
	記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。([XAVC HS 4K] / [XAVC S 4K]など)
	動画設定	動画のフレームレートとビットレートを選択する。
	スロー &クイック設定	スロー &クイックモーション撮影の設定をする。
	プロキシー設定	低ビットレートのプロキシー動画を同時に記録する。
	APS-C(S35 撮影	静止画撮影時はAPS-Cの画角、動画撮影時はSuper35mmの画角で記録するかどうかを設定する。
	長秒時ノイズ低減	シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ低減処理を設定する。
	高感度ノイズ低減	高感度撮影した場合のノイズ低減処理を設定する。
	HLG静止画	HDR規格の「Hybrid Log-Gamma」(HLG)に対応した静止画を撮影する。
	色空間	再現できる色の範囲を変更する。
	レンズ補正	レンズ補正の設定をする。
メディア		
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録メディア設定	2つのメモリーカードスロットに対して、どのように画像を記録するかを設定する。
	管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録再生できるようにする。
	メディア残量表示	現在撮影可能な静止画の枚数と動画の時間を表示する。

ファイル		
	ファイル/フォルダー設定	撮影する静止画のファイル名や記録するフォルダーを設定する。
	記録フォルダー選択	[ファイル/フォルダー設定]の[フォルダー形式]が[標準形式]に設定されていて、フォルダーが2つ以上存在する場合、撮影した画像を保存するフォルダー（記録フォルダー）を選ぶ。
	フォルダー新規作成	メモリーカードの中に、静止画を記録するための新しいフォルダーを作成する。
	IPTC情報	撮影する静止画にIPTC情報を書き込む。
	著作権情報	撮影する静止画の著作権情報を設定する。
	シリアル番号書き込み	撮影時にカメラのシリアル番号を書き込む。
	ファイル設定	撮影する動画のファイル番号やファイル名を設定する。
撮影モード		
	露出モード	動画撮影時の露出モードを設定する。
	S&Q 露出モード	スロー＆クイックモーション撮影時の露出モードを設定する。
	露出制御方式	動画撮影時時の露出を設定する方法を選択する。
	MR 撮影設定呼び出し	[MR 撮影設定登録]であらかじめ登録した設定を呼び出す。
	MR 撮影設定登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。
	MR 登録/呼出メディア	M1 ～ M4の設定の登録や呼び出しを行うメモリーカードのスロットを選ぶ。
	カスタム撮影設定登録	撮影時に呼び出したい機能をカスタムキーに登録する。

ドライブモード		
	ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。([セルフタイマー（1枚）] / [連続ブラケット]など)
	ブラケット設定	ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。
	インターバル撮影機能	インターバル撮影の設定を行う。
シャッター /サイレント		
	サイレントモード設定	カメラの作動音を抑えるサイレントモードの設定を行う。
	シャッター方式	シャッター方式を電子シャッターかメカシャッターから選ぶ。
	電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。
	レンズなしレリーズ	レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。
	カードなしレリーズ	メモリーカードが入っていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。
	フリッカーレス撮影	蛍光灯などの人工光源の点滅によるちらつき(フリッカー)の影響が少ないタイミングで撮影するための設定をする。
音声記録		
	音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。
	録音レベル	録音レベルを調整する。
	音声出力タイミング	音声モニタリング時のエコー対策や映像と音声のずれ対策の設定をする。
	風音低減	動画撮影時、風音を低減する。
	シューの音声設定	マルチインターフェースシューに取り付けたアクセサリーから送られたデジタル音声の録音形式を設定する。

TC/UB		
	Time Code Preset	タイムコードを設定する。
	User Bit Preset	ユーザービットを設定する。
	Time Code Format	タイムコードの記録方式を選ぶ。
	Time Code Run	タイムコードの歩進方法を選ぶ。
	Time Code Make	タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶ。
	User Bit Time Rec	時刻をユーザービットコードとして記録するかどうかを選ぶ。
手ブレ補正		
	手ブレ補正	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。
	手ブレ補正	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。
	手ブレ補正調整	手ブレ補正の設定をする。
	焦点距離	[手ブレ補正調整]が[マニュアル]のとき、[焦点距離]で設定した焦点距離で手ブレ補正する。
ズーム		
	ズーム	ズームの倍率を設定する。
	ズーム範囲	超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうかを設定する。
	カスタムキーズームスピード	カスタムキーにズーム機能を割り当てている場合のズームスピードを設定する。
	リモートズームスピード	リモコンでズーム機能を使用する場合のズームスピードを設定する。
撮影画面表示		
	グリッドライン表示	構図を合わせるための線を表示するかどうかを設定する。
	グリッドラインの種類	グリッドラインの種類を[3分割]、[方眼]、[対角+方眼]から選ぶ。
	ライブビュー表示設定	ライブビューの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。

	記録中の強調表示	動画を記録中に、モニター全体に赤い枠を表示するかどうかを設定する。
マーカー表示		
	アスペクトマーカー	静止画撮影時に、アスペクトマーカーを表示するかどうかを設定する。
	アスペクトマーカーの種類	表示するマーカーのアスペクト比を設定する。
	アスペクトマーカーレベル	表示するアスペクトマーカーの濃度を設定する。
	マーカー表示	動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかどうかを設定する。
	センターマーカー	撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。
	アスペクトマーカー	動画撮影時のアスペクトマーカー表示の設定をする。
	セーフティゾーン	セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。
	ガイドフレーム	ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。

(露出/色)タブ

露出		
	オートスローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。
	ISO感度	ISO感度を設定する。
	ISO感度範囲限定	ISO感度をマニュアルで設定するときのISO感度の範囲を限定する。

	ISO AUTO低速限界	撮影モードが[プログラムオート]または[絞り優先]で[ISO AUTO]を選択したときに、ISO感度が変わり始めるシャッタースピードを設定する。
	オート/マニュアル切換設定	動画撮影時、専門的なビデオカメラの露出制御方式のように、絞り値とシャッタースピード、ISO感度のオート/マニュアルを個別に切り換える。 [露出制御方式]が[フレキシブル露出モード]の時に使う。
露出補正		
	露出補正	画像全体の明るさを補正する。
	露出補正値のリセット	露出補正ダイヤルが「0」の状態で電源を切ったとき、[露出補正]で設定した値を保持するかどうかを設定する。
	露出値ステップ幅	シャッタースピード、絞り値、露出補正値の設定幅を設定する。
	露出基準調整	カメラの適正露出値の基準を、測光モードごとに調整することができる。
測光		
	測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。([マルチ] / [スポット]など)
	マルチ測光時顔優先	[測光モード]を[マルチ]に設定しているときに、カメラが検出した人物の顔を基準に測光するかどうかを設定する。
	スポット測光位置	[フォーカスエリア]が[スポット]などのときに、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させるかどうかを設定する。
	シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに便利。

フラッシュ		
📷/🎞	**フラッシュモード**	フラッシュの発光方式を設定する。
📷/🎞	**調光補正**	フラッシュの発光量を調整する。
📷/🎞	**露出補正の影響**	露出補正値をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。
📷/🎞	**ワイヤレスフラッシュ**	ワイヤレスフラッシュ撮影を行うかどうかを設定する。
📷/🎞	**赤目軽減発光**	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
📷/🎞	**外部フラッシュ設定**	外部フラッシュの発光モードや光量などの設定をカメラのMENUから設定する。
📷/🎞	**フラッシュ撮影設定登録**	フラッシュ撮影時のシャッタースピードとISO感度を、フラッシュを使用しない場合の設定とは別に保持し、フラッシュの電源ON/OFF状態をカメラが判断して自動で切り換える。
ホワイトバランス		
📷/🎞	**ホワイトバランス**	撮影場所の光の状況に合わせて、白色をベースに色調を調整する。([オート] / [太陽光]など)
📷/🎞	**AWB時の優先設定**	[ホワイトバランス]が[オート]のとき、白熱電球などの光源下で優先する色味を設定する。
📷/🎞	**シャッター AWBロック**	オートホワイトバランスのときに、シャッターボタンを押している間ホワイトバランスを固定するかどうかを設定する。
📷/🎞	**ショックレスWB**	動画の記録中に[ホワイトバランス]や[AWB時の優先設定]の設定値を変更したときの、ホワイトバランスが切り替わる速さを設定する。
📷/🎞	**WB取り込み枠サイズ**	カスタムホワイトバランスを設定するときのホワイトバランス取り込み枠の大きさを変更する。

カラー /トーン		
	Dレンジオプティマイザー	被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にする。
	クリエイティブルック	お好みの画像の仕上がりを選ぶ([VV] / [PT]など)。コントラスト、彩度、シャープネスなどの詳細な調整もできる。
	ピクチャープロファイル	撮影する画像の発色、階調などの設定を細かく変更できる。 ＊映像クリエイター向けの機能です。
ゼブラ表示		
	ゼブラ表示	明るさ調整の目安になるしま表示を表示するかどうかを設定する。
	ゼブラレベル	ゼブラの輝度レベルを設定する。

AF/MF (フォーカス)タブ

AF/MF		
	フォーカスモード	ピント合わせの方法を選ぶ。 ([シングルAF] / [コンティニュアスAF]など)
	AF-S時の優先設定	[フォーカスモード]が[シングルAF]、[DMF]または[AF制御自動切換]で被写体が静止しているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。
	AF-C時の優先設定	[フォーカスモード]が[コンティニュアスAF]で被写体が動いているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。
	AF被写体追従感度	静止画撮影時、オートフォーカスの追従感度を選ぶことができる。
	AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。

📷/🎞	**AF時の絞り駆動**	レンズの絞り駆動方式を変更して、オートフォーカスの追従性能を優先した設定や、静音を優先した設定にする。
📷/🎞	**プリセットフォーカス/ズーム**	カスタムキーにフォーカス位置(ピントが合う被写体までの距離)とズーム位置(画角)の組み合わせを登録し、カスタムキーを押すことでフォーカス位置/ズーム位置を呼び出す設定をする。
📷/🎞	**シャッター半押しAF**	シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。
📷/🎞	**プリAF**	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。
📷/🎞	**AFトランジション速度**	動画撮影時、オートフォーカスの対象が切り換わったときにフォーカス位置を移動させる速さを設定する。
📷/🎞	**AF乗り移り感度**	動画撮影時、被写体がフォーカスエリアからはずれたときに、フォーカスが別の被写体に乗り移る感度を設定する。
📷/🎞	**AFアシスト**	オートフォーカスでの動画撮影中に、レンズのフォーカスリングを操作してフォーカスを合わせる被写体を変更する。
フォーカスエリア		
📷/🎞	**フォーカスエリア**	ピント合わせの位置を選ぶ。([ワイド] / [スポット]など)
📷/🎞	**フォーカスエリア限定**	使用するフォーカスエリアの種類をあらかじめ限定する。
📷/🎞	**縦横フォーカスエリア切換**	カメラのポジション(横位置/縦位置)ごとに、[フォーカスエリア]とフォーカス枠の位置を使い分けるかどうかを設定する。
📷/🎞	**フォーカスエリア枠色**	フォーカスエリアの枠の色を設定する。

	フォーカスエリア登録機能	静止画撮影時に、フォーカス枠をあらかじめ登録した位置に一時的に移動させる機能を設定する。
	登録フォーカスエリア消去	[フォーカスエリア登録機能]で登録したフォーカス枠の位置情報を消去する。
	フォーカスエリア自動消灯	フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定する。
	AF-Cエリア表示	[コンティニュアスAF]時にフォーカスエリアを表示するかどうかを設定する。
	位相差AFエリア表示	位相差AFのエリア表示を設定する。
	フォーカス位置の循環	フォーカス位置を選択するときに、一番端のフォーカス位置から反対側のフォーカス位置に循環して移動するかどうかを設定する。
	AF枠の移動量	フォーカスエリアが[スポット]、[拡張スポット]に設定されているときの、フォーカス枠の移動量を設定する。
顔/瞳AF		
	AF時の顔/瞳優先	オートフォーカスのときに、フォーカスエリア内にある顔や瞳を検出して瞳にピントを合わせる(瞳AF)かどうかを設定する。
	顔/瞳検出対象	顔や瞳を検出する対象を選択する。
	右目/左目選択	検出する瞳を選択する。
	顔/瞳枠表示	顔や瞳を検出したときに顔検出枠/瞳検出枠を表示するかどうかを設定する。
	個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。
	登録顔優先	[個人顔登録]で登録した顔を優先して顔検出を行う。
ピント補助		
	MF時自動ピント拡大	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。

	ピント拡大	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。
	ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。
	ピント拡大初期倍率	[ピント拡大]を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定する。
	ピント拡大中のAF	拡大表示中に、オートフォーカスするかどうかを設定する。拡大表示中は、[スポット]より狭いエリアでピントを合わせることができる。
	ピント拡大初期倍率	[ピント拡大]を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定する。
ピーキング表示		
	ピーキング表示	マニュアルフォーカス撮影のときにピントが合った部分の輪郭を強調表示するかどうかを設定する。
	ピーキングレベル	ピントが合った部分の輪郭を強調するレベルを設定する。
	ピーキング色	ピントが合った部分の輪郭を強調する色を選ぶ。

(再生)タブ

再生対象		
	複数メディアの再生設定	スロット1とスロット2の両方にメモリーカードが入っている場合に、どちらのスロットの画像を再生するかを設定する。
	複数メディアの表示設定	スロット1とスロット2の両方にメモリーカードが入っている場合に、すべてのスロットの画像を表示するか、[複数メディアの再生設定]で選択したスロットの画像を表示するかを設定する。
	再生フィルターの条件設定	再生する画像を絞り込むための条件を設定する。

📷/🎞	**画像の並び順**	再生画面で画像を表示する並び順を設定する。
拡大		
📷/🎞	**拡大**	再生画像を拡大表示する。
📷/🎞	**拡大の初期倍率**	画像を再生し拡大表示する(再生ズーム)ときの、拡大の初期倍率を選ぶ。
📷/🎞	**拡大の初期位置**	画像を再生し拡大表示する(再生ズーム)ときの、拡大の初期位置を選ぶ。
セレクション/メモ		
📷/🎞	**プロテクト**	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。
📷/🎞	**レーティング**	撮影した画像に★～★★★のレーティング(ランク分け)を設定する。
📷/🎞	**レーティング カスタムキー設定**	[▶ カスタムキー設定]で[レーティング]を割り当てたキーを使ってレーティングを設定するときに選べる★の数を設定する。
削除		
📷/🎞	**削除**	画像を削除する。
📷/🎞	**削除確認画面**	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらが最初に選択された状態にするかを設定する。
編集		
📷/🎞	**回転**	画像を回転する。
📷/🎞	**コピー**	[複数メディアの再生設定]で選ばれているメモリーカードから、もう一方のスロットに入っているメモリーカードに画像をコピーする。
📷/🎞	**動画から静止画作成**	動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存する。
📷/🎞	**JPEG/HEIF切換**	[動画から静止画作成]で切り出す静止画のファイル形式をJPEGかHEIFに切り換える。

鑑賞		
📷/🎞	インターバル連続再生	インターバル撮影で撮影した画像を連続再生する。
📷/🎞	インターバル再生速度	[インターバル連続再生]で静止画を連続再生するときの速度を設定する。
📷/🎞	スライドショー	画像を連続再生する。
再生オプション		
📷/🎞	一覧表示	画像を一覧表示する。
📷/🎞	グループ表示	連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像をグループ化して表示するかどうかを設定する。
📷/🎞	記録画像の回転表示	縦向きで記録した画像の再生方法を設定する。
📷/🎞	フォーカス枠表示	再生時にフォーカス枠を表示するかどうかを設定する。
📷/🎞	アスペクトマーカー表示	撮影時に表示したアスペクトマーカーを静止画再生時に表示させるかどうかと、マーカーの濃度を設定する。
📷/🎞	日時指定で画像表示	撮影日時を指定して画像を再生する。
📷/🎞	画像送り設定	前ダイヤル/後ダイヤルで再生画像をジャンプ移動するときの画像送りの方法をダイヤルごとに設定する。

(ネットワーク)タブ

接続/リモート撮影		
📷/🎞	スマートフォン接続	スマートフォンからカメラへの接続を受け付けるかどうかを設定する。
📷/🎞	リモート撮影機能	リモート撮影の設定をする。
📷/🎞	カメラで選んで転送	カメラで画像を選択して、スマートフォンに転送する。
📷/🎞	転送状態リセット	スマートフォンに転送した画像の転送状態をリセットする。

📷/🎞	**電源OFF中の接続**	カメラの電源が入っていないときに、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付けるかどうかを設定する。
📷/🎞	**リモート撮影設定**	スマートフォンやパソコンを使ったリモート撮影時に保存される画像について設定する。
FTP転送		
📷/🎞	**FTP転送機能**	FTPを使った画像転送の設定を行い、実行する。 ＊FTPサーバーに関する基本的な知識が必要です。
Creators' Cloud		
📷/🎞	**クラウド接続**	クラウドサービスCreators' Cloudに接続するかどうかを設定する。
📷/🎞	**クラウド情報**	カメラと連携しているクラウドサービスCreators' Cloudのアカウント情報やクラウド接続に関する情報を表示する。
Wi-Fi		
📷/🎞	**Wi-Fi接続**	カメラのWi-Fi機能を使用するかどうかを設定する。
📷/🎞	**アクセスポイント簡単登録**	アクセスポイントのWi-Fi Protected Setup™（WPS）ボタンを押すことでアクセスポイントを登録する。
📷/🎞	**アクセスポイント手動登録**	手動でアクセスポイントを登録する。
📷/🎞	**Wi-Fi周波数帯**	Wi-Fi通信の周波数を設定する。
📷/🎞	**Wi-Fi情報表示**	本機のWi-FiのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示する。
📷/🎞	**SSID・PWリセット**	接続許可した機器と共有しているSSIDとパスワードをリセットする。
Bluetooth		
📷/🎞	**Bluetooth機能**	Bluetooth機能の有効・無効を設定する。
📷/🎞	**ペアリング**	本機とBluetooth機器をペアリングする。すでにペアリングされた機器と接続している場合、接続先の名称を表示する。

	ペアリング済み機器管理	カメラとペアリングした機器のペアリング情報を確認/削除する。
	Bluetoothリモコン	Bluetoothリモコンを使用する/しないを設定する。
	機器アドレス表示	カメラのBDアドレスを表示する。
有線LAN		
	LAN IPアドレス設定	有線LANのIPアドレスの取得方法を選ぶ。
	有線LAN情報表示	有線LANのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示する。
USB-LAN/テザリング		
	USB-LAN接続	USB-LAN変換アダプターを使用してネットワークに接続する。ネットワークを切断するには、[USB-LAN切断]を選ぶ。
	テザリング接続	スマートフォンのテザリング接続を使用してネットワークに接続する。ネットワークを切断するには、[テザリング切断]を選ぶ。
ネットワークオプション		
	機内モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC/Bluetooth機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。
	機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
	ルート証明書の読み込み	本機にルート証明書を読み込む。
	アクセス認証設定	リモート撮影や画像転送時に、カメラとデバイス間の通信を暗号化する。
	アクセス認証情報	アクセス認証を使ってカメラをパソコンやスマートフォンに接続するときに必要な情報を表示する。
	ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定をリセットする。

(セットアップ)タブ

エリア/日時		
📷/🎞	**エリア/日時設定**	本機を使用する場所、時計、日付の設定をする。
設定初期化/保存		
📷/🎞	**設定リセット**	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。
📷/🎞	**設定の保存/読込**	本機の設定をメモリーカードに保存したり、保存された設定を読み込んだりする。
操作カスタマイズ		
📷/🎞	**カスタムキー/ダイヤル設定**	あらかじめキーやダイヤルに機能を設定しておくと、静止画撮影時にキーを押したり、ダイヤルを回したりするだけで設定しておいた機能を実行できる。
📷/🎞	**カスタムキー/ダイヤル設定**	あらかじめキーやダイヤルに機能を設定しておくと、動画撮影時にキーを押したり、ダイヤルを回したりするだけで設定しておいた機能を実行できる。
📷/🎞	**▶ カスタムキー設定**	あらかじめキーに機能を設定しておくと、再生時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。
📷/🎞	**Fnメニュー設定**	静止画/動画撮影時のFn（ファンクション）ボタンで表示する機能をカスタマイズする。
📷/🎞	**▶ Fnメニュー設定**	再生時のFn（ファンクション）ボタンで表示する機能をカスタマイズする。
📷/🎞	**静止画/動画独立設定**	静止画撮影と動画撮影で設定値を共通にするか、別々にするかを項目ごとに選ぶ。
📷/🎞	**DISP（画面表示）設定**	DISPボタンを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。

📷/🎞	**シャッターボタンでREC**	シャッターボタンを使って動画を撮影するかどうかを設定する。
📷/🎞	**ズームリング操作方向**	ズームリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定する。電動ズームレンズで本機能に対応したレンズのみ使用できます。
ダイヤルカスタマイズ		
📷/🎞	**カスタムキー/ダイヤル設定**	あらかじめキーやダイヤルに機能を設定しておくと、静止画撮影時にキーを押したり、ダイヤルを回したりするだけで設定しておいた機能を実行できる。
📷/🎞	**カスタムキー/ダイヤル設定**	あらかじめキーやダイヤルに機能を設定しておくと、動画撮影時にキーを押したり、ダイヤルを回したりするだけで設定しておいた機能を実行できる。
📷/🎞	**マイダイヤル設定**	ダイヤル/コントロールホイールにお好みの機能を割り当てて、その組み合わせを3つまで登録できる。
📷/🎞	**Av/Tvの回転方向**	前ダイヤル、後ダイヤルまたはコントロールホイールで絞り値やシャッタースピードを変更するときの回転方向を設定する。
📷/🎞	**ファンクションリング(レンズ)**	レンズのファンクションリングを操作したときの機能を設定する。
📷/🎞	**操作部のロック**	Fnボタンを長押しして、マルチセレクター、コントロールホイール、前ダイヤル/後ダイヤルを一時的に無効にする機能を設定する。
タッチ操作		
📷/🎞	**タッチ操作**	画面のタッチ操作を有効にするかどうかを設定する。
📷/🎞	**タッチパネル/タッチパッド**	モニター撮影時のタッチパネル操作、ファインダー撮影時のタッチパッド操作のどちらを有効にするかを設定する。
📷/🎞	**タッチパネル設定**	タッチパネルの設定をする。

	タッチパッド設定	タッチパッドの設定をする。
	タッチ感度	タッチ操作する際の感度を設定する。
ファインダー /モニター		
	ファインダー /モニター選択	ファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定する。
	モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。
	ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを設定する。
	ファインダー色温度	ファインダーの色温度を設定する。
	ファインダー倍率	ファインダーの表示倍率を切り換える。
	表示画質	表示画質を設定する。 • [高画質]に設定すると、バッテリーの消費が早くなります。 • カメラの温度が高くなると、[標準]に固定されることがあります。
	ファインダーフレームレート	静止画撮影時のファインダーのフレームレートを設定する。
表示オプション		
	TC/UB表示設定	カウンター、タイムコード、ユーザービットの表示を設定する。
	ガンマ表示アシスト	S-Log/HLGを適用した動画を表示するときに、モニタリングをしやすくするために画面を変換して表示する。
	ガンマ表示アシスト方式	S-Log/HLGを適用した動画を表示するときに、モニタリングをしやすくするために画面を変換するときの、変換方式を設定する。
	撮影残量表示	静止画撮影時に連続して撮影できる枚数の目安を表示させるかどうかを設定する。
	オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。

電源オプション		
📷/🎞	**パワーセーブ開始時間**	省電力モード(パワーセーブ)になるまでの時間を設定する。
📷/🎞	**自動電源OFF温度**	撮影時にカメラの電源が自動で切れる温度を設定する。手持ちで撮影する際は[標準]に設定する。
サウンドオプション		
📷/🎞	**再生/モニタリング音量**	動画再生時の音量を設定する。
📷/🎞	**4ch音声のモニタリング**	4チャンネルで音声を記録/再生するときに、ヘッドホン端子に出力する音声チャンネルの組み合わせを選択する。
📷/🎞	**電子音**	ピントが合ったときや、セルフタイマー操作時の電子音の有無を設定する。
USB		
📷/🎞	**USB接続モード**	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
📷/🎞	**USB LUN設定**	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。
📷/🎞	**USB給電**	本機とパソコン、またはUSB機器を接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。
外部出力		
📷/🎞	**HDMI解像度**	静止画撮影時と再生時に、HDMIでテレビへ画像を出力するときの解像度を設定する。
📷/🎞	**HDMI出力設定**	動画撮影時に、HDMIで他の機器へ画像を出力するときの設定をする。
📷/🎞	**HDMI情報表示**	HDMIで画像を出力するときに、情報表示を出力するかどうかを設定する。

	HDMI機器制御	HDMIケーブル(別売)を使ってテレビをつないだ場合に、テレビのリモコンをテレビに向けて、本機を操作するかどうか設定する。
セットアップオプション		
	ビデオライトモード	LEDライトHVL-LBPC（別売)の点灯方式を設定する。
	赤外線リモコン	赤外線リモコンを使用する/しないを設定する。
	アンチダスト機能	イメージセンサーの清掃に関する設定を行う。
	オートピクセルマッピング	カメラの電源を切ったときに、イメージセンサーの最適化を自動で行うかどうか設定する。
	ピクセルマッピング	手動でイメージセンサーの最適化を行う。
	バージョン	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
	シリアル番号表示	カメラのシリアル番号を表示する。
	認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。

☆(マイメニュー)タブ

マイメニュー設定		
	項目の追加	☆(マイメニュー)に好みのメニュー項目を追加する。
	項目の並べ替え	☆(マイメニュー)に追加したメニュー項目を並べ替える。
	項目の削除	☆(マイメニュー)に追加したメニュー項目を削除する。
	ページの削除	☆(マイメニュー)に追加したメニュー項目をページごとに削除する。

📷/🎞	**全て削除**	☆ (マイメニュー) に追加したメニュー項目をすべて削除する。
📷/🎞	**マイメニューから表示**	MENUボタンを押したときにマイメニューから表示するかどうかを設定する。

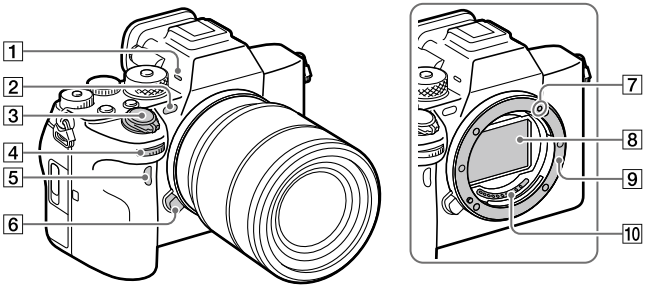
ご注意

- ここに記載しているメニュータブの順番は、実際とは異なります。

各部の名称

( )内の数字は参照ページです。

本体前面



1 内蔵マイク

動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。

2 AF補助光発光部/セルフタイマーランプ(54) /可視光+IRセンサー

撮影時は手でふさがないようにしてください。

3 ON/OFF (電源)スイッチ (12) /シャッターボタン (13)

4 前ダイヤル

撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

5 赤外線リモコン受光部

6 レンズ取りはずしボタン

7 マウント標点(11)

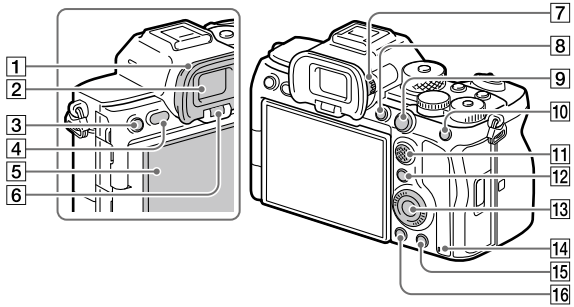
8 イメージセンサー *

9 マウント

10 レンズ信号接点*

* 直接手で触れないでください。

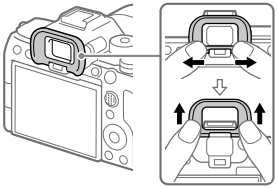
本体背面



1 アイピースカップ

取りはずしかた

アイピースカップ下部のつめを左右に開いて、上に引き上げます。



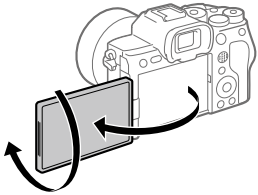
2 ファインダー

3 C3ボタン(カスタムボタン3)(74) /🔑(プロテクト)ボタン

4 MENU(メニュー)ボタン(23)

5 モニター(タッチ操作時:タッチパネル/タッチパッド)(14、68)

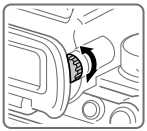
モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



6 アイセンサー(84)

7 視度調整ダイヤル

ファインダー内の画面表示がはっきり見えるように、ご自身の視度に合わせて調整してください。視度調整ダイヤルが回しにくいときは、アイピースカップをはずしてから操作してください。



8 C1ボタン(カスタムボタン1)(74)

9 撮影時 : AF-ON (AFオン)ボタン

再生時 : ⊕(拡大)ボタン

10 撮影時 : AELボタン

お買い上げ時は[押す間AEL]が割り当てられています。

再生時 : ▪(一覧表示)ボタン

11 マルチセレクター (19)

12 撮影時 : Fn (ファンクション)ボタン(29)

再生時 : (スマートフォン転送)ボタン

このボタンを押すとスマートフォン転送画面になります。

13 コントロールホイール(18)

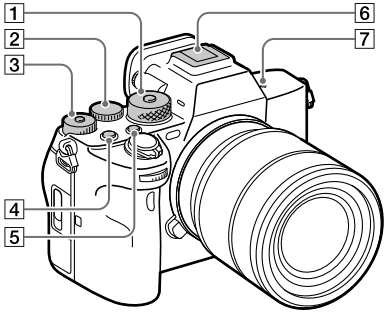
14 アクセスランプ

15 撮影時 : C4ボタン(カスタムボタン4)(74)

再生時 : 🗑(削除)ボタン

16 ▶(再生)ボタン

本体上面



1 モードダイヤル(20)

中央のロック解除ボタンを押している間、モードダイヤルのロックが解除されます。

2 後ダイヤル

撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

3 露出補正ダイヤル

中央のロックボタンを押すたびに、露出補正ダイヤルのロック/ロック解除が切り替わります。ロックボタンが上がって白い線が見えているときがロック解除状態です。

4 MOVIE（動画）ボタン

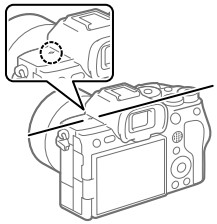
5 C2ボタン(カスタムボタン2)(74)

6 マルチインターフェースシュー *

一部のアクセサリーでは接続時にマルチインターフェースシュー後方からはみ出る場合がありますが、先端まで入っていれば取り付けできています。

7 ⊖イメージセンサー位置表示

- イメージセンサーとは、光を電気信号に変えるためのセンサーです。⊖マークがイメージセンサー面の位置を表しています。被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。



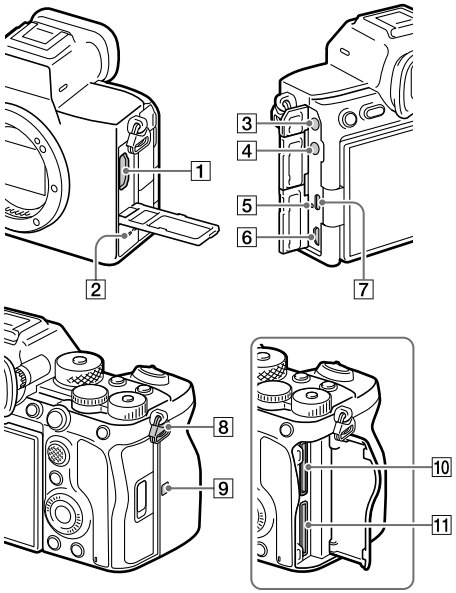
- レンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎていないか、確認してください。

* マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/
アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

Multi Interface Shoe

Accessory Shoe

本体側面



1 HDMIタイプA端子

2 スピーカー

3 🎤（マイク）端子

外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

4 🎧（ヘッドホン）端子

5 充電ランプ

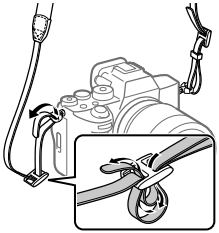
6 マルチ/マイクロUSB端子*

この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

7 USB Type-C端子

8 ショルダーストラップ取り付け部

ストラップの両方の先端をそれぞれ取り付けます。



9 N(Nマーク)

- 本体ソフトウェアVer.3.0以降では、カメラとスマートフォンをNFC接続することはできません。
- NFC（Near Field Communication）は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

10 SLOT 1（メモリーカードスロット1）(11)

11 SLOT 2（メモリーカードスロット2）(11)

* マルチ端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/

USB端子について

USB通信は、USB Type-C端子でもマルチ/マイクロUSB端子でも可能ですが、両方の端子で同時に通信することはできません。
給電、バッテリーの充電にはUSB Type-C端子をお使いください。
マルチ/マイクロUSB端子からは充電や給電はできません。

- USB Type-C端子での給電中またはリモート撮影中でも、リモートコマンダー（別売）などのマルチ端子アクセサリーは使用できます。

端子カバーについて

お使いになる際には、端子カバーが閉められていることをご確認ください。

ケーブルプロテクターについて

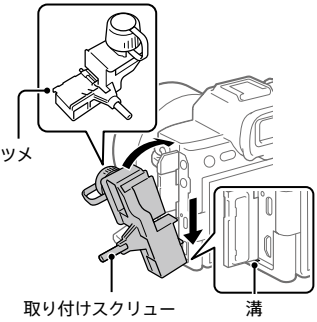
本機にケーブルを接続して撮影するときに、ケーブルの抜け防止のために使用します。

取り付けかた

① HDMI端子のカバー、ヘッドホン端子のカバー、USB端子カバーを開ける。

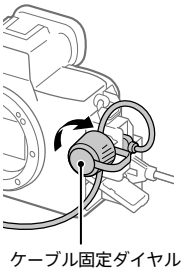
② ケーブルプロテクターのツメをマルチ/マイクロUSB端子の下の溝に引っ掛け、はずれないように下方向に押し付けながら、本機の端子面にかぶせるように取り付ける。

③ 取り付けスクリューを押しながら回し、ケーブルプロテクターを固定する。



④ ケーブルを端子に差し込む。

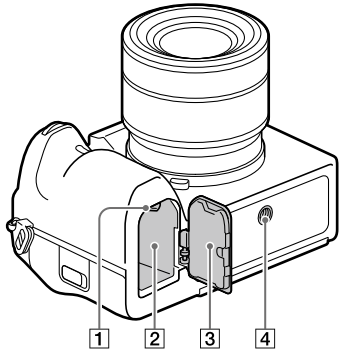
⑤ ケーブル固定部にケーブルを挟み、ダイヤルで固定する。



取りはずしかた

取り付けスクリューを緩めて、ケーブルプロテクターを取りはずします。

本体底面



1 ロックレバー（10）

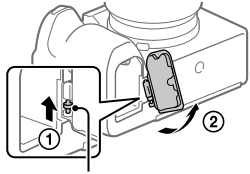
2 バッテリー挿入口(10)

3 バッテリーカバー（10）

縦位置グリップ(別売)などのアクセサリーを取り付けるときは、バッテリーカバーを取りはずしてください。

取りはずしかた

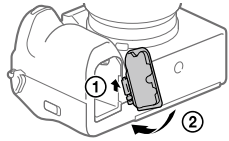
バッテリーカバー取りはずしレバーを矢印の方向に動かして、バッテリーカバーを取りはずす。



バッテリーカバー取りはずしレバー

取り付けかた

バッテリーカバーの軸を取り付け部の穴に差し込んでから、バッテリーカバーを押し込むようにしてもう一方の軸を取り付ける。



4 三脚用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

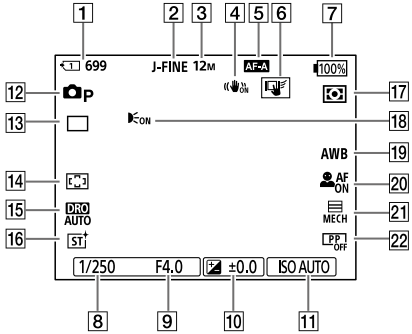
三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

基本的なアイコン

撮影モードがP(プログラムオート)のときの画面表示について説明します。

- [DISP(画面表示)設定]が[全情報表示]で、タッチ機能アイコンが非表示のときの表示例です。
- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。また、カメラの設定状態によっては、表示されないアイコンもあります。
- タッチ機能アイコンの表示/非表示方法や画面表示については、「タッチ機能アイコン」(16ページ)をご覧ください。
- その他のアイコンについては、ヘルプガイドをご覧ください。

静止画撮影時



1 撮影データを記録するスロットの番号と記録可能枚数

2 [JPEG/HEIF切換]が[JPEG]に設定されている。
[JPEG画質]が[ファイン]に設定されている。

3 [JPEG画像サイズ]が[L: 12M]に設定されている。

4 [手ブレ補正]が[入]に設定されている。

5 [フォーカスモード]が[AF制御自動切換]に設定されている。

6 [撮影時のタッチ機能]が[タッチトラッキング]に設定されている。

7 バッテリー残量

8 シャッタースピード

9 絞り値

10 露出補正値

11 [ISO感度]が[ISO AUTO]に設定されている。

12 モードダイヤルがP(プログラムオート)に設定されている。

13 [ドライブモード]が[1枚撮影]に設定されている。

14 [フォーカスエリア]が[ワイド]に設定されている。

15 [Dレンジオプティマイザー：オート]が選択されている。

16 [クリエイティブルック]が[ST]に設定されている。

17 [測光モード]が[マルチ]に設定されている。

18 [AF補助光]が[オート]に設定されていて、カメラがAF補助光を必要と判断したときに表示される。

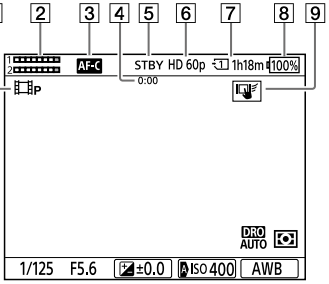
19 [ホワイトバランス]が[オート]に設定されている。

20 [AF時の顔/瞳優先]が[入]で、[顔/瞳検出対象]が[人物]に設定されている。

21 [シャッター方式]が[メカシャッター]に設定されている。

22 [ピクチャープロファイル]が[切]に設定されている。

動画撮影時



1 モードダイヤルがP(プログラムオート)に設定されている。

2 音声レベル

3 [フォーカスモード]が[コンティニュアスAF]に設定されている。

4 動画の撮影実時間

5 撮影スタンバイ状態である。

6 [記録方式]が[XAVC S HD]に設定され、[記録フレームレート]が[60p]に設定されている。

7 撮影データを記録するスロットの番号と記録可能時間

8 バッテリー残量

9 [撮影時のタッチ機能]が[タッチトラッキング]に設定されている。

安全のために

⚠危険　漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

バッテリー

バッテリーを誤って取り扱うと、バッテリーが破裂して火災や化学的な火傷が発生することがあります。以下の注意を守ってください。

禁止

- 分解や改造をしない。
- ハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を加えない。
- ショートさせたり、クリップなどの金属をバッテリー端子に接触させない。
- 直射日光下の車中など、60 ℃以上の高温の場所にさらさない。
- 焼却したり、火の中に入れたりしない。
- 液漏れや、破損したリチウムイオン電池を取り扱わない。
- バッテリーは指定された方法以外で充電しない。
- 乳幼児、子供の手の届く場所に置かない。
- ぬらさない。
- バッテリーはソニー純正品を使う。
- 使用済みのバッテリーはリサイクルする。
- -20 ℃以下の過度の低温や11.6 kPa以下の極端な低圧にさらさない。

電池を飲み込まないでください。化学やけどの原因となります。
本製品には、コイン/ボタン電池が内蔵または同梱されています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、2時間程度で重度の内臓のやけどを引き起こし、死亡に至ることがあります。
新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池カバーがしっかりと閉じない場合は、使用をやめ、子供の手の届かないところに保管してください。
電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
コイン/ボタン電池は充電しないでください。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

使用中に本機や付属品が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

レンズが直射日光にあたる場所に放置しない

光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

ブラケット等を介し、他のアクセサリーも取り付けた状態で使用する場合、取扱いに注意する

落下等により、不慮の事故の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部をビニールテープなどで絶縁してリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.com/ を参照してください。

使用上のご注意

ヘルプガイドの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機の取り扱いについてのご注意

- 本機は防じん・防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。
- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。
  本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。
  また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。
  光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズやファインダーに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーやファインダー内部が破損し、カメラが故障することがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。
- 本機（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。
- ボリュームは徐々に上げてください。突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

モニターおよびファインダーについてのご注意

- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。

- 万一モニターやファインダーが破損した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所で手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。

連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

長時間撮影／長時間ストリーミングおよび4K動画撮影についてのご注意

- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。
  - 気温の高い環境でご使用になる場合
  - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
  - 自動電源OFF温度を［高］に設定してご使用になる場合

メモリーカードの取り扱いについてのご注意

- 記録終了後はメモリーカードが熱くなっていることがありますが故障ではありません。
- モニターに［!］（温度上昇警告アイコン）が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間をおいてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。
  メモリーカードを取り出すときは充分ご注意ください。

ソニー製純正レンズ/アクセサリーをお使いください

本機を他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

位置情報についてのご注意

スマートフォンの専用アプリを使って位置情報連動された状態で、本機で撮影した静止画や動画をインターネットに公開、共有すると、意図せずに第三者に撮影場所が知られる場合があります。その場合は専用アプリの［位置情報連動］をオフにして撮影してください。

本機の廃棄/譲渡についてのご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- ［設定リセット］ → ［初期化］

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による［フォーマット］や［削除］では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

ネットワーク機能についてのご注意

ネットワーク機能を使用する際、使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から本機にアクセスされる可能性があります。

例として、ネットワーク機器が無許可でネットワークに接続されている、あるいは接続することができるネットワーク環境では、本機に不正なアクセスをされる可能性があります。こうした環境への接続によって損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 5 GHz帯についてのご注意

ワイヤレスLANの5 GHz帯は屋外では使用できません。

屋外でワイヤレスLAN機能を使用するときは、以下の手順で使用する帯域を2.4 GHz帯に設定してください。

- MENU → ⊕（ネットワーク） → ［Wi-Fi］ → ［Wi-Fi周波数帯］

無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、［機内モード］で一時的に無効にできます。

Wi-Fi機能をオンまたはオフにする

MENU → ⊕（ネットワーク） → ［Wi-Fi］ → ［Wi-Fi接続］ → ［入］または［切］を選ぶ。

Bluetooth機能をオンまたはオフにする

MENU → ⊕（ネットワーク） → ［Bluetooth］ → ［Bluetooth機能］ → ［入］または［切］を選ぶ。

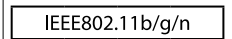
この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

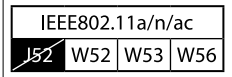
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。

2.4：2 400 MHz帯を利用する無線設備を表します。
DS/OF/XX：変調方式がDS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。
2：想定される与干渉距離が20 m以下であることを示します。
8：想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。

▬▪▬▪▬ ：2 400 MHz ～ 2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。
▬ ▬ ▬ ：2 400 MHz ～ 2 483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。



5 GHzワイヤレスLAN搭載モデル



5 GHzワイヤレスLANの屋外使用は法令により禁止されています。

ACアダプター /チャージャーについて

ACアダプター /チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

電源コードを付属するモデルについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

無線機能使用上のご注意

本機の無線機能は、国や地域によって法規制により使用できない場合があります。
お使いになる際は、その国や地域の法規制に従ってください。

本機が出す電波が計器や医療機器等に影響を与える恐れがあるため、飛行機内、病院で無線使用の際は、航空会社、病院の指示に従ってください。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。
MENU → (セットアップ) → [セットアップオプション] → [認証マーク表示]を選択してください。
本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ ヘルプガイドを確認する。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(96ページ)。

❹ αα専用サポートサイトで確認する。
https://www.sony.jp/support/ichigan/index.html

❺ 相談窓口に電話で問い合わせる。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“困ったときは”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。
ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

使用できるメモリーカード

本機はCFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカード(UHS-I、UHS-II対応)に対応しています。
microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

静止画撮影時

以下のメモリーカードを使用できます。

- CFexpress Type Aメモリーカード
- SD、SDHC、SDXCカード

動画撮影時

記録方式と対応メモリーカードは以下の通りです。

記録方式	最大記録ビットレート	対応メモリーカード
XAVC HS 4K	**280Mbps**	• CFexpress Type Aメモリーカード(VPG200以上) • SDXCカード(V60以上)
XAVC S 4K	**280Mbps**	
XAVC S HD	**100Mbps**	• CFexpress Type Aメモリーカード • SDHC、SDXCカード(U3以上)
XAVC S-I 4K	**600Mbps**	• CFexpress Type Aメモリーカード(VPG200以上) • SDXCカード(V90以上)
XAVC S-I HD	**222Mbps**	

スロー&クイックモーション撮影時に使用できるメモリーカードについては、ヘルプガイドをご覧ください。

ヒント

- 記録ビットレートが200Mbpsのときは、SDXCカード(U3/V30)でも記録可能です。

ご注意

- プロキシー記録時は、より高速なメモリーカードが必要になることがあります。
- CFexpress Type Bメモリーカードは使用できません。
- SDHCメモリーカードに長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。
- スロット1とスロット2の両方のメモリーカードに同時に動画を記録するときは、ファイルシステムが同じメモリーカードを両スロットに挿入してください。
  ファイルシステムexFATとFAT32の組み合わせで記録することはできません。

メモリーカード	ファイルシステム
CFexpress Type Aメモリーカード、SDXCメモリーカード	exFAT
SDHCメモリーカード	FAT32

- メモリーカード上の管理ファイルを修復する場合は、バッテリーを充分に充電してから実行してください。

主な仕様

本体

[形式]
カメラタイプ：
　レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ：ソニー Eマウントレンズ

[撮像部]
撮像素子：
　35 mmフルサイズ(35.6 mm×
　23.8 mm)、CMOSイメージセンサー
カメラ有効画素数：約12 100 000画素
総画素数：約12 900 000画素

[手ブレ補正]
イメージセンサーシフト方式(内蔵)

[アンチダスト]
帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

[オートフォーカス]
検出方式：位相差検出方式/コントラスト検出方式
検出輝度範囲：
　EV−6 ～ EV+20（ISO100相当、F2.0)

[ファインダー]
形式:1.6 cm (0.64型)電子式ビューファインダー
総ドット数：9 437 184ドット
倍率：約0.90倍(50 mmレンズ、無限遠、視度−1 m^{-1}時)
アイポイント：最終光学面から約25 mm、接眼枠から約21 mm（視度−1 m^{-1}時)
視度調整：−4.0 m^{-1} ～+3.0 m^{-1}

[モニター]
7.5 cm（3.0型）TFT駆動、タッチパネル
ドット数：1 440 000ドット

[露出制御]
測光方式：
　1 200分割ライブビュー分析測光
測光範囲：EV−3 ～ EV+20（ISO100相当、F2.0レンズ使用)
ISO感度(推奨露光指数)：
　静止画撮影時：ISO80~ISO102400
　(拡張：下限ISO40
　　上限ISO409600)
　動画撮影時：ISO80~ISO102400相当(拡張：上限ISO409600相当)

[シャッター]
形式：電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード範囲：
　静止画撮影時：1/8000秒～ 30秒、バルブ
　動画撮影時：1/8000秒～ 1/4秒(1/3段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで(オートスローシャッター 1/30秒まで)
フラッシュ同調速度：1/250秒(ソニー製フラッシュ装着時)

[記録方式]
静止画記録方式：
　JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.32、MPF Baseline準拠)、
　HEIF（MPEG-A MIAF準拠)、
　RAW（ソニー ARW 5.0フォーマット準拠)

動画記録方式(XAVC HS方式):
XAVC Ver2.1:MP4 フォーマット準拠
映像:MPEG-H HEVC/H.265
音声:LPCM 2ch(48kHz 16bit)、LPCM 4ch(48kHz 24bit) *1
LPCM 2ch(48kHz 24bit) *1
MPEG-4 AAC-LC 2ch*2
動画記録方式(XAVC S方式):
XAVC Ver2.1:MP4 フォーマット準拠
映像:MPEG-4 AVC/H.264
音声:LPCM 2ch(48kHz 16bit)、LPCM 4ch(48kHz 24bit) *1
LPCM 2ch(48kHz 24bit) *1
MPEG-4 AAC-LC 2ch*2

*1 マルチインターフェースシューで4ch出力および24bit対応可能なアクセサリーを使用時
*2 プロキシー動画

[記録メディア]
SLOT 1/SLOT 2:CFexpress Type Aメモリーカード、SD(UHS-I、UHS-II対応)カード用スロット

[入/出力端子]
USB Type-C端子:
USB通信 SuperSpeed USB 5Gbps (USB 3.2)
USB Power Delivery対応
マルチ/マイクロUSB端子*:
USB通信 Hi-Speed USB (USB 2.0)
* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
HDMI端子:HDMIタイプA端子
(マイク)端子:
∅3.5 mmステレオミニジャック
(ヘッドホン)端子:
∅3.5 mmステレオミニジャック

[電源・その他]
定格:7.2 V ⎓、4.3 W
動作温度:0 ~ 40 ℃
保存温度:−20 ~ 55 ℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)(約):
128.9 × 96.9 × 80.8 mm
128.9 × 96.9 × 69.7 mm
(グリップからモニターまで)
質量:約699 g(バッテリー、SDXCメモリーカードを含む)

[ワイヤレスLAN]
WW271448
対応規格:IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
使用周波数帯:2.4 GHz/5 GHz帯

[NFC]
タグタイプ:
NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

[Bluetooth通信]
Bluetooth標準規格Ver. 5.0
使用周波数帯:2.4 GHz帯

[エコ/省エネルギー]
消費電力(オフモード):非該当
消費電力(スタンバイモード/低電力モード):0.5 W
消費電力(ネットワークスタンバイモード):2.0 W(Bluetooth)/2.0 W(すべての端子接続時およびネットワーク接続時)
省電力モード有効:20分以内(デフォルト)
ネットワークスタンバイモード有効:20分以内(デフォルト)

バッテリーチャージャー BC-QZ1/BC-QZ1 T

定格入力：100 – 240 V ∼、50/60 Hz、0.38 A
定格出力：8.4 V ⎓、1.6 A

リチャージャブルバッテリーパック NP-FZ100

定格：7.2 V ⎓

推奨のUSB PD対応ACアダプター

入力：100 ～ 240 V ∼、50/60 Hz
出力：9 V ⎓/2 A以上、15 V ⎓/2 A以上

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

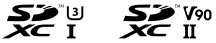
画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

商標について

- XAVC Sおよび XAVC S はソニー株式会社の登録商標です。
- XAVC HSおよび XAVC HS はソニー株式会社の登録商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの登録商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- CFexpress Type Aロゴは CompactFlash Associationの商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

• その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。



索引

ア行

アイコン一覧 131
アイセンサー 123
アスペクトマーカー 71
位相差AF 49
オートレビュー 69
おまかせオート 36
主な仕様 146
音声記録 72

カ行

ガイドフレーム 71
拡張スポット 46
画質/画像サイズ設定 56, 58
カスタムキー /ダイヤル設定 32, 74
カスタム撮影設定登録 80
カメラ内ガイド 3
画面表示 131
記録方式 59
記録メディア自動切換 89
記録メディア設定 88
クラウド 95, 99
ケーブルプロテクター 129
言語 137
コンティニュアスAF 44
コントロールホイール 18

サ行

再生速度 65
撮影結果プレビュー 70
撮影設定登録 78
撮影設定呼び出し 79
シーン認識 36
視度調整 124
絞り優先 38
シャッタースピード優先 38
充電 10
初期設定 12
シングルAF 44
スポット 46
スマートフォン接続 97
スロー＆クイック設定 64
スロー＆クイックモーション 43
静止画撮影 13
静止画のファイル形式 56
セーフティゾーン 71
設定の保存/読込 95
設定リセット 96
セルフタイマー（1枚） 54
センターマーカー 71
ソフトウェア 98

タ行

対応メモリーカード 144
ダイレクトマニュアルフォーカス 44
タッチ機能アイコン 16
タッチシャッター 68
タッチトラッキング 68
タッチパッド 68
タッチパネル 14
タッチフォーカス 68
動画 42
動画音声記録 72
動画記録方式 59
動画設定 61
動画の露出モード 42

登録.....78
登録呼び出し.....79
ドライブモード.....52
トラッキング.....46

ハ行

パソコン.....98
バルブ撮影.....40
パワーセーブ開始時間.....93
瞳AF.....49
ピント.....44
ファイル形式.....56
ファイル設定.....91
ファイル/フォルダー設定.....90
ファイル名.....90, 91
ファインダー /モニター選択.....84
ファンクションボタン.....29
フォーカス.....44
フォーカスエリア.....46
フォーカス表示.....45
フォーカスモード.....44
フォーマット.....87
フォルダー名.....90
プロキシー設定.....66
プログラムオート.....37
プログラムシフト.....37
ヘルプガイド(Web取扱説明書).....3

マ行

マーカー表示.....71
マイダイヤル設定.....76
マイメニュー.....83
マニュアルフォーカス.....44
マニュアル露出.....39
マルチインターフェースシュー.....125
マルチセレクター.....19
メインメニュー（撮影設定一覧）.....26
メモリーカード.....11, 87, 144
モードダイヤル.....20
モニター表示.....131

ラ行

レンズ.....11
連続撮影.....53
ロー画像.....56
録音レベル.....72

数字/アルファベット順

1枚撮影.....52
A.....38
AF-A.....44
AF-C.....44
AF-S.....44
AF制御自動切換.....44
APS-C/Super35mm.....67
BULB.....40
Creators' App.....97
Creators' Cloud.....99
DISP（画面表示）設定.....85
DISPボタン.....33
DMF.....44
Fn.....29
Fnメニュー設定.....82
HEIF.....56
HEIF画質.....58
HEIF画像サイズ.....58
Imaging Edge Desktop.....98
JPEG.....56
JPEG/HEIF切換.....55
JPEG画質.....58
JPEG画像サイズ.....58
M.....39

MENUボタン 23
MF 44
P 37
RAW 56
RAW+HEIF 56
RAW＋JPEG 56
RAW記録方式 57
S 38
S&Q 43, 64
USB給電 94
XAVC HS 4K 60
XAVC S 4K 60
XAVC S HD 60
XAVC S-I 4K 60
XAVC S-I HD 60